

指定管理者制度導入施設評価について

■ 指定管理者制度導入施設評価の概要

1 評価の流れ

- 7月
- 企画課にて施設所管課による自己評価結果を精査し、総合経営会議での審議を経て内部評価を確定
- 7月～8月
- 指定管理者評価部会による現地視察（6段階評価を実施した施設）、施設所管課に対するヒアリングを実施
- 10月28日
- 内部評価結果及び指定管理者評価部会意見を行政評価・行政改革推進委員会に報告

【指定管理者評価部会】（任期：令和5年8月9日～令和9年3月31日）

氏名		役職等	備考
部会長	石井 公二郎	中小企業診断士	行政評価・行政改革推進委員会委員
部会員	荒金 拓郎	社会保険労務士	
部会員	秋庭 淳志	大分県立文化芸術短期大学 講師	
部会員	林 勇貴	大分大学 経済学部 准教授	

2 評価手法

指定期間の経過年数に応じた評価手法を用い、自己評価と外部評価の2段階評価を実施

種 類		実施時期	評価の方法	指定管理者評価部会
6段階評価	4年目評価	指定期間の4年度目	採点を行い、S～Eの6段階で評価する	・現地視察 ・施設所管課へのヒアリング
	2年目評価	指定期間の2年度目		
年次評価（所見評価）		上記以外の年度	所見を記した文章により評価する	・施設所管課へのヒアリング

◆6段階評価の仕組みについて

①指定管理者の管理運営の実績を基に評価項目毎に採点を行う

評価の視点	評価項目	配点
1 施設の設置目的の達成(有効性の向上)に関する取組	(1)施設の設置目的の達成	20
	(2)利用者の満足度	20
2 効率性の向上等に関する取組	(1) 経費の低減等	20
	(2) 収入の増加	10
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組(適正性)	(1) 施設の管理運営の実施状況	15
	(2)法令遵守、平等利用、安全対策、危機管理体制など	15
計		100



②得点合計から評価ランクを決定

評価ランク	得点合計	評価	評価ランク	得点合計	評価
S	90点以上	特に優れている	C	60点～69点	適正である
A	80点～89点	優れている	D	50点～59点	努力が必要である
B	70点～79点	やや優れている	E	0点～49点	かなりの努力が必要である

■ 令和5年度指定管理者制度の導入施設一覧（全12施設）
（黄色：2年目の6段階評価と現地視察）

施 設 名	指定管理者制度導入年月日	指定後経過年数 (年度)	所管課	利用料 金制	指 定 管 理 者 名	総合評価結果 (6段階評価結果)
大分市丹生温泉	H17. 4. 1	19年	福祉保健課	○	(社福) 大分市福祉会	B (73点)
大分市多世代交流プラザ	H18. 4. 1	18年	福祉保健課		(社福) 大分市社会福祉協議会	C (66点)
大分市大洲総合体育館	R2. 4. 1	4年	スポーツ振興課	○	ファビルス・プランニング大分共同 事業体	C (69点)
大分市関崎海星館	H23. 4. 1	13年	社会教育課	○	大分エージェンシー (株)	A (82点)
平和市民公園能楽堂	H19. 4. 1	17年	文化振興課	○	平和市民公園能楽堂共同事業体	
大分市宇曽山荘	H19. 4. 1	17年	文化振興課	○	特定非営利活動法人 七瀬の里Nク ラブ	
コンパルホール	H23. 4. 1	13年	文化振興課	○	コンパルホール共同事業体	
ホルトホール大分	H25. 7. 20	11年	文化振興課	○	ホルトホール大分みらい共同事業体	
大分市営温水プール	H19. 4. 1	17年	スポーツ振興課	○	日本水泳振興会・東急コミュニ ティー共同事業体	
大分市営陸上競技場並びに 津留運動公園自由広場及び テニスコート	H20. 4. 1	16年	スポーツ振興課	○	大分リバースタジアム共同事業体	
市営住宅（一部）	H23. 4. 1	13年	住宅課		大分県住宅供給公社	
市営住宅（一部）	H26. 4. 1	10年	住宅課		(株) 別大興産	
アートプラザ	H19. 4. 1	17年	美術振興課	○	アートプラザ共同事業体	

令和6年度指定管理者評価部会 総括意見

①	施設の設置目的を果たすためには、指定管理者により適切に運営されることが重要である。担当課においては、指定管理者の実施状況をしっかりとチェック・管理し、指導されたい。
②	利用者の満足度を上げるため、利用者アンケート件数の増加および内容等の充実を図り、その結果を踏まえて施設のより良い運営に活かすよう協議されたい。
③	広域市町へ積極的に案内し、施設の有効活用並びに利用者数の増加に努めてもらいたい。
④	運営にかかる効率性の向上を図るために、指定管理者から提出された収支等の資料についてはしっかりと確認されたい。仕入商品や再委託などについてしっかりとチェックされたい。
⑤	指定管理者の職員が疲弊してしまうことがあってはならないため、適正な管理運営の点から、指定管理者において法令遵守が行われているか確認されたい。労務管理においては、職員の始業、終業時刻の把握の方法が適切かどうか、施設所管課はモニタリングの中で確認されたい。
⑥	災害の発生に備え、避難訓練を実施し、緊急時のマニュアルや連絡網の周知・徹底を行い、適宜マニュアルの修正を行うとともに事業報告書に記載を要請するなど、今一度災害対応を確認されたい。
⑦	評価方法について、個人情報保護などの統一的な基準を設けたほうが望ましい項目もあるため検討されたい。また、評価の結果、より良くなるよう指定管理者を指導されたい。

令和6年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	福祉保健課
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
施設種別	レクリエーション・スポーツ施設

1. 指定概要

施設概要	名称	大分市丹生温泉施設					
	所在地	大分市大字丹生1189番地					
	設置目的	市民の健康の保持及び増進を図るとともに地域の活性化に寄与するため					
	施設の建築年 (又は事業開始年)	平成17年					
指定管理者	名称	社会福祉法人 大分市福祉会					
	代表者名	理事長 大塚 富造					
	所在地	大分市大字松岡3743番地					
指定管理業務の内容		①管理施設の利用に関する業務 ②管理施設の利用に係る利用料金の徴収に関する業務 ③管理施設の維持管理に関する業務					
料金体系		【12歳以上】 1人1回310円 (11枚綴り回数券3,100円) 【6歳以上12歳未満】 1人1回140円 (11枚綴り回数券1,400円) 【6歳未満】 1人1回 70円 (11枚綴り回数券 700円)					
利用料金制		導入済			選定方法		公募
指定期間		令和5年4月1日～令和10年3月31日 (5年間)			導入年度		平成17年度
利用者数 (単位：人)				R5年度 目標④	43,250	達成率 ①／④	86%
H17年度② (直営時又は 制度導入1年目)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度③	R5年度①	H17年度比 ①－②	R4年度比 ①－③
39,169	47,960	22,198	33,377	38,513	37,097	▲ 2,072	▲ 1,416
管理運営経費の削減額 (直営時比較・前指定期間比較) (単位：千円)							
直営時 管理運営経費 (b)	前指定期間 最終年度R4年 (c)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(a)	直営時(初年度)比較 (a) - (b)	前指定期間比較 (a) - (c)
4,166	5,216	7,648	6,303	5,216	5,000	834	▲ 216
利用者満足度 (%)		満足	やや満足	配置職員数 (人)	直営時又は導入1年目		令和5年度
		51.9	22.6		7		12

2. 評価結果

評価項目及び評価のポイント				配点	評価レベル	得点
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組				40		28
(1) 施設の設置目的の達成				20	3	12
①施設の特徴を生かし、施設の効用を高めるための取組がなされているか。						
②施設の設置目的に応じた効果的な広報など情報発信がなされているか。						
③施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組がなされ、その効果があったか。						
【評価の理由】						
利用者数について、昨年度より1,400人ほど減少し目標を達成することはできなかったが、これは露天風呂目隠しフェンス改修工事等に伴う休館の影響によるものである。 「市民感謝デー」を開催するなど、利用者数増加に向けた取り組みを行ったことで、1日平均利用者数は昨年度より増加している。						
(2) 利用者の満足度				20	4	16
①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。						
②サービスの質や量は向上しているか。						
③利用者の苦情や要望、意見を把握し、その対応を行っているか。						
④利用者への情報提供が十分になされたか。						
【評価の理由】						
利用者アンケート結果 【施設の使いやすさ】 (R5) 満足：51.9% やや満足：22.6% 【職員の対応】 (R5) 満足：52.8% やや満足：23.6%						
利用者アンケートの結果、施設の使いやすさや職員の対応について、利用者からは概ね満足が得られている。 また、利用者からの意見や要望はアンケート等を通じて把握し、改善できる部分は対応を行っている。						
2 効率性の向上等に関する取組				30		18
(1) 経費の低減等				20	3	12
①施設の管理運営において経費の削減が図られているか。						
②清掃、警備、設備の保守点検等の業務について再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。						
③経費の効果的・効率的な執行がなされたか。						
【評価の理由】						
支出額：(R4) 17,446,049円 (R5) 17,011,159円						
前年度と比較して支出額が減少しているが、これは露天風呂目隠しフェンス改修工事等に伴う休館によるものであると考えられる。 しかし、温泉施設の清掃業務を大分市福祉会が運営する福祉工場が行うなど、経費の節減に努めている。						
(2) 収入の増加				10	3	6
①収入を増加させるための具体的な取組がなされ、その効果があったか。						
【評価の理由】						
利用料金収入：(R4) 11,284,640円 (R5) 10,770,920円						
露天風呂目隠しフェンス改修工事等に伴う休館により、昨年度と比較して利用者数が減少したことで利用料金収入も減少している。 しかし、「市民感謝デー」については昨年度より利用者数が増加し、市民感謝デー開催期間中の利用料金収入は増加している。						

3	公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組		30		27
	(1) 施設の管理運営の実施状況		15	5	15
	①事業計画等に基づく適切な人員配置や勤務体制となっているか。				
	②従事者への教育・研修は、適切に行われているか。				
	③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。				
	【評価の理由】				
	事業計画等に基づき利用者サービスに影響しない人員配置、勤務体制を整えているほか、障がい者の活躍の場にもなっている。 また、近隣の幼稚園の温泉利用を受け入れるなど、地域との連携が図られている。 さらに、人権・同和問題やA E Dの取扱い、レジオネラ属菌対策等の各種研修を実施し、適正な管理運営を行っている。				
	(2) 法令遵守、平等利用、安全対策、危機管理体制など		15	4	12
	①関係法令（地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等）の遵守等に遺漏はないか。				
	②施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されているか。				
	③市民の公平かつ平等な利用が確保されているか。				
	④施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。				
	⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。				
	⑥事故発生時や非常災害時において適切な対応が取れる体制を確保しているか。				
	【評価の理由】				
	公衆浴場法などの各種法令を遵守し、個人情報保護のための対策も適切に実施されている。 また、安全管理マニュアルを作成し、事故発生時や災害発生時に迅速に対応ができる体制を確保しているほか、日頃から施設内外の巡視を行い、高齢者1人での入浴時には十分注意するなど、安全対策が適切に実施されている。				

【総合評価】

合計得点（100点満点）	73	評価ランク（S～E）	B
【評価の理由】 利用者数については、昨年度より1,400人ほど減少し目標を達成することはできなかったが、これは露天風呂目隠しフェンス改修工事等に伴う休館の影響によるものであり、「市民感謝デー」など利用者数増加に向けた取り組みを行ったことで、1日平均利用者数は昨年度より増加している。 適正に管理運営がなされており、特に障がい者が活躍できる場となっていることは高く評価できる。 【今後の対応】 施設設置から20年を迎える中、老朽化による不具合も発生しているため、施設の維持管理に必要な不可欠な設備については計画的に更新を行っていく必要がある。 今後とも適正な管理運営を継続した上で、リピーターの確保及び新たな利用者の獲得など、利用者数増加に努めていく。			

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
・アンケートについて、利用者から積極的に回答してもらえるよう工夫することで、施設の改善につなげてほしい。	・アンケートについて、利用者へ声掛けをするなど、回答に協力してもらえるようにしている。
・県外から来ている方が一定数いるため、どこから来ているのか分析し、認知度を上げる取組に活かしてほしい。	・県外から来ている方もいるが、具体的にどのような取組ができるのかについては、引き続き指定管理者と協議を行っていく。
・施設の管理運営上、レジオネラ菌に関する研修等については継続的な取組を要請する。	・レジオネラ属菌対策やA E Dの取扱い等、施設の管理運営上必要となる研修については継続的に行っている。

【R6年度 指定管理者評価部会の意見】

- ①指定管理者から提出のあった人件費や委託費の資料について、その内容を担当課としてしっかり管理されたい。
- ②利用者がくつろげるよう自動販売機の位置や中身の工夫、休憩室の整理整頓に努めてもらいたい。
- ③引き続きアンケートの回答数の増加に努めてもらいたい。

令和6年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	福祉保健課
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
施設種別	社会福祉施設

1. 指定概要

施設概要	名称	大分市多世代交流プラザ						
	所在地	大分市大字野津原800番地						
	設置目的	世代間の交流及び高齢者等の健康の増進を図るとともに福祉に関する市民の自主的な活動を促進することにより、市民の福祉の向上に寄与するため						
	施設の建築年 (又は事業開始年)	平成12年						
指定管理者	名称	社会福祉法人 大分市社会福祉協議会						
	代表者名	会長 江藤 郁						
	所在地	大分市金池南1丁目5番1号 J:COMホルトホール大分4階						
指定管理業務の内容		①管理施設の利用に関する業務 ②福祉に関する各種相談、援助及び指導に関する業務 ③教養の向上及びレクリエーションに関する業務 ④健康の増進に関する業務 ⑤管理施設の維持管理に関する業務						
料金体系		-						
利用料金制		未導入			選定方法		任意指定	
指定期間		令和5年4月1日～令和10年3月31日 (5年間)				導入年度		平成18年度
利用者数 (単位：人)				R5年度 目標④	7,000		達成率 ①／④	66%
H17年度② (直営時又は 制度導入1年目)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度③	R5年度①	H17年度比 ①－②		R4年度比 ①－③
7,208	8,472	2,628	2,701	4,010	4,653	▲ 2,555		643
管理運営経費の削減額 (直営時比較・前指定期間比較) (単位：千円)								
直営時 管理運営経費(b)	前指定期間 最終年度R4年(c)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(a)	直営時(初年度)比較 (a)－(b)		前指定期間比較 (a)－(c)
6,574	5,274	5,262	5,262	5,274	5,300	▲ 1,274		26
利用者満足度 (%)		満足	やや満足	配置職員数 (人)		直営時又は導入1年目		令和5年度
		65.9	11.7			2		2

2. 評価結果

評価項目及び評価のポイント				配点	評価レベル	得点
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組				40		28
(1) 施設の設置目的の達成				20	4	16
①施設の特徴を生かし、施設の効用を高めるための取組がなされているか。						
②施設の設置目的に応じた効果的な広報など情報発信がなされているか。						
③施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組がなされ、その効果があったか。						
【評価の理由】						
利用者数（目標）：（R5）7,000人 利用者数（実績）：（R5）4,653人						
自主事業のうち、高齢者の健康づくり及び生きがい対策の推進を目的とした「スカットボール大会」を4年ぶりに開催したこと等により、利用者数は前年度より640人ほど増加したものの、目標を達成することはできなかった。						
(2) 利用者の満足度				20	3	12
①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。						
②サービスの質や量は向上しているか。						
③利用者の苦情や要望、意見を把握し、その対応を行っているか。						
④利用者への情報提供が十分になされたか。						
【評価の理由】						
利用者アンケート結果 【施設の使いやすさ】（R5）満足：65.9% やや満足：11.7% 【職員の対応】（R5）満足：76.2% やや満足：5.4%						
利用者アンケートの結果、施設の使いやすさや職員の対応について概ね満足が得られている。 また、利用者からの意見や要望についてアンケート等を通じて把握し、改善できる部分は対応を行っている。						
2 効率性の向上等に関する取組				30		20
(1) 経費の低減等				20	3	12
①施設の管理運営において経費の縮減が図られているか。						
②清掃、警備、設備の保守点検等の業務について再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。						
③経費の効果的・効率的な執行がなされたか。						
【評価の理由】						
支出額：（R4）6,595,712円 （R5）8,227,007円						
施設の管理運営に係る経費については節減に努めているところではあるが、最低賃金額の引き上げのほか、4年ぶりに「スカットボール大会」を実施したこと等により昨年度と比較して支出額が増加している。						
(2) 収入の増加				10	4	8
①収入を増加させるための具体的な取組がなされ、その効果があったか。						
【評価の理由】						
事業収入：（R4）74,200円 （R5）97,000円						
施設の利用は無料であるが、自主事業実施時に参加者から参加料を徴収している。 4年ぶりに「スカットボール大会」を実施したこと等により参加者が増加したことで、事業収入も増加している。						

3	公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組		30		18
(1) 施設の管理運営の実施状況			15	3	9
①事業計画等に基づく適切な人員配置や勤務体制となっているか。					
②従事者への教育・研修は、適切に行われているか。					
③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。					
【評価の理由】					
事業計画等に基づき、利用者サービスに影響しない人員配置、勤務体制を整えている。 また、防災や人権・同和問題等の各種研修を実施している。					
(2) 法令遵守、平等利用、安全対策、危機管理体制など			15	3	9
①関係法令（地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等）の遵守等に遺漏はないか。					
②施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されているか。					
③市民の公平かつ平等な利用が確保されているか。					
④施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。					
⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。					
⑥事故発生時や非常災害時において適切な対応が取れる体制を確保しているか。					
【評価の理由】					
各種法令を遵守し、個人情報保護のための対策も適切に実施されている。 また、日頃から施設内を点検することはもとより、安全管理マニュアルを作成し、事故発生時や災害発生時に的確かつ迅速に対応ができる体制を確保している。					

【総合評価】

合計得点 (100点満点)	66	評価ランク (S～E)	C
【評価の理由】 4年ぶりに「スカットボール大会」を開催したこと等により利用者数は昨年度より増加したものの、事業計画に掲げた目標（利用者数7,000人）を達成することはできなかった。 施設の管理運営は適正に行われており、利用者からも概ね満足が得られている。 【今後の対応】 引き続き適正な管理運営に努めるとともに、利用者が固定化されているといった状況を鑑み、支所や公民館を含めた施設のあり方について検討していく。			

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
・施設の在り方や利用目的を施設所管課だけではなく、全庁的に協議してほしい。 ・利用者が固定化されているため、非利用者が求めるものを含め、公共施設としてどのようにあるべきか検討してほしい。	・この間、支所や公民館を含めた施設のあり方について検討してきたところであり、引き続き検討を行っていく。

【R6年度 指定管理者評価部会の意見】

- ①雇用形態にかかわらず労働者の勤務状況を把握するよう担当課において管理されたい。
- ②コロナ前に利用していた方に再び利用してもらうよう、利用者情報を取得し活用するよう指定管理者と協議されたい。
- ③施設の設置目的に沿った指定管理業務ができているか担当課においてはしっかり把握されたい。

令和6年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	スポーツ振興課
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
施設種別	レクリエーション・スポーツ施設

1. 指定概要

施設概要	名称	大分市大洲総合体育館					
	所在地	大分市青葉町1番地					
	設置目的	市民の体育及びスポーツの振興を図り、健康で文化的な生活の向上に寄与するため。					
	施設の建築年 (又は事業開始年)	昭和54年（令和2年4月1日に大分県から移管を受け供用開始）					
指定管理者	名称	ファビルス・プランニング大分共同事業体					
	代表者名	㈱ファビルス 代表取締役 野田 太					
	所在地	福岡県福岡市博多区博多駅前1丁目1-1					
指定管理業務の内容		①体育館の使用許可に関する業務 ②体育館の使用に係る利用料金の徴収に関する業務 ③体育館の施設及び設備の維持管理に関する業務					
料金体系		【大体育室】フロア全部（1H）：2,500円 2分の1（1H）：1,250円 3分の1（1H）：790円 【小体育室】フロア全部（1H）：1,100円 2分の1（1H）：620円 【柔道場・剣道場】フロア全部（1H）：790円 2分の1（1H）：400円 【クライミングウォール】専用（1H）：630円 個人利用一般：100円 小～高校生：90円 【ボルダリングウォール】専用（1H）：360円 個人利用（1H）：150円 【トレーニングルーム】1人2時間：330円 等					
利用料金制		導入済		選定方法		公募	
指定期間		令和5年4月1日～令和10年3月31日（5年間）			導入年度		令和2年度
利用者数（単位：人）				R5年度 目標④	200,000	達成率 ①／④	102%
21年度② (直営時又は 制度導入1年目)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度③	R5年度①	21年度比 ①－②	R4年度比 ①－③
229,343	204,388	125,665	149,194	182,342	203,345	▲ 25,998	21,003
管理運営経費の削減額（直営時比較・前指定期間比較）（単位：千円）							
直営時 管理運営経費（b）	前指定期間 最終年度令和4年（c）	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(a)	直営時(初年度)比較 (a)－(b)	前指定期間比較 (a)－(c)
—	49,422	59,015	56,063	49,422	66,300	#VALUE!	16,878
利用者満足度（%）		満足	やや満足	配置職員数（人）		直営時又は導入1年目	令和5年度
		33	35			17	20

2. 評価結果

評価項目及び評価のポイント		配点	評価レベル	得点
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組		40		28
(1) 施設の設置目的の達成		20	4	16
①施設の特徴を生かし、施設の効用を高めるための取組がなされているか。				
②施設の設置目的に応じた効果的な広報など情報発信がなされているか。				
③施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組がなされ、その効果があったか。				
【評価の理由】 ○利用者数は毎年増加しており、令和5年度は目標利用者数を上回った。 ○トレーニングルームについて、混雑状況を配信するサービスを導入することで、利用者の利便性の向上を図っている。 ○市報やホームページ等を活用し、自主事業やイベント情報等の発信を積極的に行っており、スポーツの振興に寄与している。				
(2) 利用者の満足度		20	3	12
①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。				
②サービスの質や量は向上しているか。				
③利用者の苦情や要望、意見を把握し、その対応を行っているか。				
④利用者への情報提供が十分になされたか。				
【評価の理由】 ○利用者アンケートにおいて60%以上の利用者満足度となっている。 ○トレーニングルームの比較的用户者が少ない時間帯を利用し、シニア料金を設定することで、引き続き利用者の増加に努めた。 ○利用者の意見・要望の把握は適切に行われており、対応可能なものについてはすぐに対応を行っている。 ○施設の休館情報等、随時情報提供を行っている。				
2 効率性の向上等に関する取組		30		20
(1) 経費の低減等		20	3	12
①施設の管理運営において経費の縮減が図られているか。				
②清掃、警備、設備の保守点検等の業務について再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。				
③経費の効果的・効率的な執行がなされたか。				
【評価の理由】 ○施設使用率の増加や基準価格の高騰に伴い、電気料が増加している。 ○施設の維持管理において可能な限り職員が行い、経費削減に努めている。				
(2) 収入の増加		10	4	8
①収入を増加させるための具体的な取組がなされ、その効果があったか。				
【評価の理由】 (利用料金収入：令和4年度35,971,800円 令和5年度39,650,774円)（自主事業収入：令和4年度7,735,947円 令和4年度10,263,537円） ○利用料金収入と自主事業収入ともに、令和4年度に比べて増加している。トレーニングルームの混雑状況や自主事業に関する情報発信を行い、利用者増加に努めている。				

3	公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組	30		21
(1) 施設の管理運営の実施状況		15	3	9
①事業計画等に基づく適切な人員配置や勤務体制となっているか。				
②従事者への教育・研修は、適切に行われているか。				
③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。				
【評価の理由】				
○人権・同和問題研修や、安全管理研修を実施するとともに、品質研修を毎月実施している。 ○従業員の地元雇用や再委託先の地元業者との再委託により地域の活性化に貢献している。				
(2) 法令遵守、平等利用、安全対策、危機管理体制など		15	4	12
①関係法令（地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等）の遵守等に遺漏はないか。				
②施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されているか。				
③市民の公平かつ平等な利用が確保されているか。				
④施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。				
⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。				
⑥事故発生時や非常災害時において適切な対応が取れる体制を確保しているか。				
【評価の理由】				
○法令に基づき適正に運営されている。 ○条例等に基づき、公平かつ平等な利用が確保されるように努めている。 ○従業員による安全指導など、安全管理に対して適切に対応されている。				

【総合評価】

合計得点（100点満点）	69	評価ランク（S～E）	C
【評価の理由】 新型コロナウイルス感染症の影響もなくなり、令和5年度についても利用者が増加をしている。また、これまでの指定管理者の実績・経験を踏まえ、円滑に施設管理運営を行っている。 【今後の対応】 令和6年度も引き続き、利用者等の増加に向けた自主事業等の取組を期待するとともに、施設管理については、重大な事故・故障等が生じないように入念な施設点検に努める必要がある。			

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
・予算額と決算額が乖離しているため、指定管理者から提出される予算書・決算書のチェックを十分に行之い、適正に指定管理料が使われているかを評価し、必要に応じて指導する必要がある。 ・各施設ごとの稼働率を把握し、必要に応じて改修を行うなど、見直しを検討されたい。	・予算どおりに、適正に指定管理料が使われているか、毎月の事業報告で確認を行うこととしました。また、指定管理者へも、適切な予算執行を行うよう、指導を行っております。 ・稼働率がより上昇するよう、まずは様々な自主事業の提案や施設全体の有効活用に関する指定管理者の提案に注視しながら、管理・指導を行います。

【R6年度 指定管理者評価部会の意見】

- ①ボルダリング利用者には、リスクを認識したうえで利用してもらうため、誓約書を書かせるような対応を行われたい。
- ②利用者がより利用しやすいように改善するため、アンケート項目に「施設の利用しやすさ」の項目の追加を検討されたい。
- ③体育館運営協力費の支出について、業務体制のチェックなどの実施を何らかの方法で行うべきである。

令和6年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	社会教育課
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
施設種別	文教施設

1. 指定概要

施設概要	名称	関崎海星館（JX金属 関崎みらい海星館）							
	所在地	大分市佐賀関４０５７－４１９							
	設置目的	海洋及び天文に関する学習の場を提供することにより市民の知識及び教養の向上を図るとともに、豊かな自然環境の下での余暇の活用に資すること。							
	施設の建築年 （又は事業開始年）	平成 7 年							
指定管理者	名称	大分エージェンシー㈱							
	代表者名	代表取締役 高倉 康弘							
	所在地	大分市法勝台1丁目1番13号							
指定管理業務の内容		①管理施設の運営業務 ②管理物件の維持管理業務 ③管理施設の利用促進、生涯学習の振興、地域の振興に関する業務 ④その他の業務 ⑤経営管理業務 ⑥前号に掲げるもののほか、大分市教育委員会又は指定管理者が必要と認める業務							
料金体系		入館料：無料 観覧料：天体観測 （個人）中学生以下／無料、高校生／210円、大人／420円 （団体）中学生以下／無料、高校生／170円、大人／340円 ※10人以上から団体割引の対象 ブラネタリウム（個人）小・中学生／100円、高校生／250円、大人／500円 （団体）小・中学生／80円、高校生／200円、大人／400円 ※10人以上から団体割引の対象 その他：（双眼鏡使用料）1回／100円（2分間）							
利用料金制		導入済				選定方法		公募	
指定期間		令和5年4月1日～令和10年3月31日 （5年間）				導入年度		平成23年度	
利用者数 （単位：人）					R5年度 目標④	30,000		達成率 ①／④	159%
22年度② （直営時又は 制度導入1年目）	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度③	R5年度①	22年度比 ①－②		R4年度比 ①－③	
14,669	29,972	24,192	29,391	5,458	47,565	32,896		42,107	
管理運営経費の削減額（直営時比較・前指定期間比較）（単位：千円）									
直営時 管理運営経費（b）	前指定期間 最終年度令和3年（c）	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(a)	直営時(初年度)比較 （a）－（b）		前指定期間比較 （a）－（c）	
27,760	28,010	28,540	28,010	4,668	39,000	11,240		10,990	
利用者満足度（%）		満足	やや満足	配置職員数（人）		直営時又は導入1年目		令和5年度	
		73.9	21.7			7		7	

2. 評価結果

評価項目及び評価のポイント		配点	評価レバール	得点
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組		40		36
(1) 施設の設置目的の達成				
①施設の特徴を生かし、施設の効用を高めるための取組がなされているか。		20	4	16
②施設の設置目的に応じた効果的な広報など情報発信がなされているか。				
③施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組がなされ、その効果があったか。				
【実績】 ○プラネタリウム、天体観測会等を通じて、海洋及び天文に関する学習の場を提供することにより、市民の知識及び教養の向上を図った。 ○アサギマダラの飛来を促す工夫をはじめ、植栽も四季折々に楽しめるよう管理しており、ロケーションの特性を生かした取組を行うことにより、利用者数の増加を図った。 ○プラネタリウム出張教室を実施し、利用者数の増加を図ったり、イベント参加時など外部での広報活動を実施、市主催の講師を務めるなど海星館のアピールを行った。 ○HPのリニューアル、SNS（フェイスブックやインスタグラム）等を利用し、旬な話題を提供するとともに、現に検索されている項目を調査することにより、市民ニーズの把握に努めた。 ○プラネタリウムをWEB上での予約制にしたことや、バリアフリー化に伴い、天体観測までの移動シミュレーションを行うなど、利用者の利便性向上に努めた。 ○入館料を引き続き無料にしたことや、アサギマダラの飛来を促す工夫、出張教室等の館外活動、積極的な広報活動など利用者数の増加に向けた取り組みを行った結果として、令和3年度の29,391人、令和4年度5,458人（4月、5月のみ開館）から、令和5年7月にリニューアルオープンし、令和6年3月末までに47,565人と利用者数を伸ばし、コロナ禍以前の平成30年度30,389人を大きく上回る利用者数となった。				
(2) 利用者の満足度				
①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。		20	5	20
②サービスの質や量は向上しているか。				
③利用者の苦情や要望、意見を把握し、その対応を行っているか。				
④利用者への情報提供が十分になされたか。				
【実績】 ○施設に対する総合評価のうち、「とても良い施設」、「良い施設」の割合が約96%と非常に高く、施設利用者の満足を得られている。 ○利用者アンケートは入館無料スペースに設置し、いつでも誰でも記入できるようにした。 ○リニューアルオープンに際して、マスコミ等からの取材を積極的に受けて情報発信を行い、集客に努めた。 ○ネーミングライツを取得したJX金属株や大分海上保安部等の展示品を設置し、サービスの向上を図った。 ○利用者アンケートにおいて、プラネタリウムでの職員の星空生解説が一番人気で、プラネタリウム利用者の満足度が約93%と質の良いサービスを提供した。 ○子ども向けの工作教室や商業施設でのイベントを開催するなど各利用者のニーズに合わせたサービスを提供した。 ○各小中学校へ広報誌を配布したり、Twitterなどによる情報発信などサービスの向上に努めた。				
2 効率性の向上に関する取組		30		22
(1) 経費の低減等				
①施設の管理運営において経費の縮減が図られているか。		20	3	12
②清掃、警備、設備の保守点検等の業務について再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。				
③経費の効果的・効率的な執行がなされたか。				
○ビル管理の専門的知識や経験を活かし、点検、修繕等の施設維持管理業務において経費の縮減に努めた。 ○リニューアルオープンということもあり、ワークショップを外注したことによる経費がさんだことが、赤字に繋がっている。今後、改善が必要。 ○リニューアルオープンということもあり、施設の管理運営に大きな支障はなかったが、イノシシやカラス、台風等の影響を受けた後は関係各所と情報共有を行い、対応した。				
(2) 収入の増加				
①収入を増加させるための具体的な取組がなされ、その効果があったか。		10	5	10
○利用料収入について、天体観測、プラネタリウムによる収入が5,474,410円とリニューアルオープン後ということもあり、大きく収入増加。 ○一方で出張教室やマスコミ各社との情報交換等をしっかりと実施したことで、来館者数増加の取り組みを行った。 ○天文に興味を持ってもらい、観覧者数の増加につなげられるよう小中学生等を対象としたワークショップを開催したり、商業施設でのイベントに参加した。				

3	公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組	30		24
(1) 施設の管理運営の実施状況		15	4	12
①事業計画等に基づく適切な人員配置や勤務体制となっているか。				
②従事者への教育・研修は、適切に行われているか。				
③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。				
【実績】 ○事業計画通りの人員配置、勤務体制であった。イベント等の繁忙期には、駐車場誘導等の警備を外部に委託するなど、安全な運営に努めた。 ○リニューアルオープンということもあり、サービス向上のための適宜研修や新人研修等を行った。 ○海上保安部とのイベントの共催、職業体験の受け入れ、関係団体の展示コーナー設置、地元企業や佐賀関支所等との意見交換等を通じて地域や関係団体との連携、協働を図った。				
(2) 法令遵守、平等利用、安全対策、危機管理体制など		15	4	12
①関係法令（地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等）の遵守等に漏漏はないか。				
②施設の利用者の個人情報保護するための対策が適切に実施されているか。				
③市民の公平かつ平等な利用が確保されているか。				
④施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。				
⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。				
⑥事故発生時や非常災害時において適切な対応が取れる体制を確保しているか。				
○事故発生につながる危険な行為を早期発見するため、1日3回以上の施設内循環を行った。また、労働関係法令の遵守に努めた。 ○日常点検マニュアル等を作成し、定期的な研修を通して、緊急時に適切な対応が取れるよう措置を講じた。 ○個人情報情報は厳重に保管している。またマニュアルを整備し、研修などで周知徹底を図っている。 ○バリアフリー化に伴い、天体観測までの移動シミュレーションを行うなど、利用者の利便性向上に努めた。 ○施設の内観、外観の見回りを毎日行い、不具合を発見した際は迅速な修繕対応を行った。 ○ビル管理の専門的知識や経験を活かし、管理物件の修繕、点検等適切に行った。 ○安全管理マニュアルを整備しており、適宜行う防災訓練等を通じて体制の確保に努めた。				

【総合評価】

合計得点 (100点満点)	82	評価ランク (S～E)	A
【評価の理由】 リニューアルオープンに向けて、マスコミ等を利用した積極的な情報発信を行うとともに、子ども向けの工作教室や各地でのイベント参加、プラネタリウム出張教室を実施するなど各利用者のニーズに合わせた事業の実施、美しい景色を生かした植栽管理、アサギマダラの飛来を促す環境作り、関係団体等との協力・連携等、教育面、観光面の両視点で集客力向上のための工夫を凝らしており、利用者アンケートによる満足度も非常に高い。コロナ禍以前の平成30年度と比べ、リニューアルによる効果もあってかほぼ1.5倍の入館者数となり、指定管理業務について高い水準で行われているものと判断する。 【今後の対応】 プラネタリウムや天体望遠鏡、展示設備を最大限活かせるように、SNS等を活用した広報活動や出張教室等の入館者数増加に向けた取り組みを継続していき、一方で植栽による美しい景観や閤崎灯台も含めた観光面についても引き続き情報発信を行っていき、地域の活性化に努める。 また、アクセス道路については、改善に向けて今後とも引き続き大分県へ要望を行う。			

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
リニューアル工事期間中のため、ヒアリングなし	—

【R6年度 指定管理者評価部会の意見】

- ①家族層の利用はもとより、愛好家層等にアプローチをかけ、より多くの利用者確保に努めてもらいたい。
- ②物販事業について、収支状況の適正性について担当課は確認されたい。
- ③他市の市報などに掲載することや民間媒体の活用によるPRで利用者数が増えるよう努めてもらいたい。
- ④ホームページの発信について、より興味を惹くような更新を順次されたい。

令和6年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	文化振興課
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
施設種別	文教施設

1. 指定概要

施設概要	名称	平和市民公園能楽堂						
	所在地	大分市牧緑町1番30号						
	設置目的	能楽、邦楽その他の伝統的芸能文化の振興を図り、市民文化の向上に資する						
	施設の建築年 (又は事業開始年)	平成元年度						
指定管理者	名称	平和市民公園能楽堂共同事業体						
	代表者名	代表構成員 株式会社 テイクファイブ 代表取締役 白石 成裕						
	所在地	大分市王子中町10番22号						
指定管理業務の内容		①指定管理の使用許可に関する業務 ②管理施設の使用に係る利用料金の徴収に関する業務 ③管理物件の維持管理に関する業務 ④利用促進及び文化の振興を図る業務 ⑤その他、大分市又は指定管理者が必要と認める業務						
料金体系		有料公演 68,640円～91,740円(平日)・82,500円～110,440円(土日) 無料公演 34,320円～45,870円(平日)・41,250円～55,220円(土日) ロビーのみ 2,980 円～3,980円(平日)・3,520円～4,740円(土日)						
利用料金制		導入済			選定方法		公募	
指定期間		平成 31年4月1日～令和6年3月31日 (5年間)			導入年度		平成19年度	
利用者数 (単位：人)				R5年度 目標④	39,000		達成率 ①／④	83%
1 8 年度② (直営時又は 制度導入1年目)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度③	R5年度①		18年度比 ①－②	R4年度比 ①－③
23,501	36,683	13,026	16,553	31,673	32,530		9,029	857
管理運営経費の削減額(直営比較時) (単位：千円)								
直営時 管理運営経費(b)	前指定期間 最終年度30年(c)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(a)	直営時(初年度)比較 (a)－(b)		前指定期間比較 (a)－(c)
47,089	47,102	54,813	51,670	51,670	51,670	4,581		4,568
利用者満足度 (%)		満足	やや満足	配置職員数 (人)		直営時又は導入1年目		令和5年度
		91	7			7		10(常勤のみ)

2. 評価結果

評価項目及び評価のポイント								
1 施設の設置目的の達成(有効性の向上)に関する取組								
(1) 施設の設置目的の達成								
①施設の特徴を生かし、施設の効用を高めるための取組がなされているか。								
②施設の設置目的に応じた効果的な広報など情報発信がなされているか。								
③施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組がなされ、その効果があったか。								
【実績】 目標指数① 年間利用者数【市設定指標(R5)：39,000人、指定管理者目標(R5)39,000人、実績(R5)32,530人 (R4)31,673人 (R3)16,553人※(参考) (R2)13,026人 (R1)36,683人】 目標指数② 年間利用件数【市設定指標：－、指定管理者目標(R5)450件、実績 (R5)388件 (R4)404件 (R3)362件】 目標指数③ 主催する事業の年間実施件数【市設定指標：25回、指定管理者目標(R5)25回 実績(R5)25回 (R4)25回 (R3)25回】 目標指数について、R5年度は指定期間の最終年度であったが、年間利用者数は市の目標値に及ばなかった。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたR2、R3年度と徐々に回復傾向にあり、昨年と比べると857人ほど増加 している。 また、令和5年度の「主催する事業の年間実施件数」の実績は25回 (目標指標25回)で、目標指標および事業計画目標値を達成している。								
(2) 利用者の満足度								
①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。								
②サービスの質や量は向上しているか。								
③利用者の苦情や要望、意見を把握し、その対応を行っているか。								
④利用者への情報提供が十分にされたか。								
【実績】 利用者アンケートによる利用者満足度(満足、やや満足)はR3年度は99%(満足91.4%、やや満足7.1%)、令和4年度は約97%(満足87.8%、やや満足8.8%)、令和5年度は約97%(満足90.6%、やや満足6.8%)で、継続して高い満足度を得られている。								
2 効率性の向上等に関する取組								
(1) 経費の低減等								
①施設の管理運営において経費の縮減が図られているか。								
②清掃、警備、設備の保守点検等の業務について再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。								
③経費の効果的・効率的な執行がなされたか。								
【実績】 R5年度は支出予算は77,321,000円に対し、支出決算65,591,060円であった。(※R4年度：支出予算88,387千円、支出決算79,575千円 R3年度：支出予算 95,347千円、支出決算 89,285千円) 支出全体としてはR3、4と比較して縮小傾向にある。これは、R3、4年度はコロナ関連の補助金等活用し自主事業を充実させた事が主な要因である。収支全体では黒字経営を保っている。 また、チラシ印刷用のプリンタを指定管理者で購入し印刷製本費を抑える等、経費削減にも努めた。								
(2) 収入の増加								
①収入を増加させるための具体的な取組がなされ、その効果があったか。								
【実績】 R5年度は収入予算は77,321,000円に対し、収入決算66,750,737円であった。 利用料収入 R5:4,849千円(※R4: 5,289千円、R3: 5,407千円) 自主事業収入 R5:4,170千円(※R4: 6,457千円、R3: 5,776千円) 補助金収入 R5:6,036千円(※R4:19,059千円、R3: 33,692千円) 全体の収入は減となっているが、これはコロナ関連補助金の収入額の差およびそれに伴う事業収入の差によるところが大きい。								

3 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組								
	(1) 施設の管理運営の実施状況							
	①事業計画等に基づく適切な人員配置や勤務体制となっているか。							
	②従事者への教育・研修は、適切に行われているか。							
	③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。							
	【実績】 事業計画等に基づき、概ね適切な人員配置や勤務体制をとっている。 従業者への教育・研修は適切に行われている。 地域と共催で事業を行ったり、小中学生を対象に能楽鑑賞会を行うなど、地域との協働を図っている。							
	(2) 法令遵守、平等利用、安全対策、危機管理体制など							
	①関係法令(地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等)の遵守等に遺漏はないか。							
	②施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されているか。							
	③市民の公平かつ平等な利用が確保されているか。							
	④施設の管理運営(指定管理業務)に係る収支の内容に不適切な点はないか。							
	⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。							
	⑥事故発生時や非常災害時において適切な対応が取れる体制を確保しているか。							
	【実績】 法令の遵守に配慮し、第三者委託や事業計画等の変更について市の承認を得て実施している。 個人情報保護のための対策は適切であり、市民の公平かつ平等な利用も確保されている。 収支の内容に不適切な点はない。 安全管理マニュアル、緊急時対応マニュアル等を整備・適宜更新し、運用している。 施設の修繕や事故防止などの安全対策について、所管課との連携を密にしながら適切な対応がとられている。							

【総合評価】

【所見】
市との相談や協議を密に行い、適切に管理運営を行っている。能楽をはじめとした伝統的芸能文化の利用者獲得を主軸に、利用者が固定化・高齢化しつつある現状を受け、若年層を対象とした体験型ワークショップや、クラシック等能楽以外の公演も幅広く実施し、市民が広く伝統的芸能文化に触れる機会や施設を認知してもらうためのきっかけを多く生み出している。
【今後の対応】
引き続き若年層やファミリー層など幅広い世代を対象とした事業を継続し、新規リピーターを創出することで、より多くの方が能楽や伝統文化に興味を持つきっかけを提供していく。 なお、施設の経年劣化が進んでいるため、能舞台の保守・保全はもとより、施設機能の低下が予測できる箇所を市と指定管理者で連携しながら計画的に修繕改修していく。

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
・九州に2つしかない能楽堂が大分市に存在することの意義を一層発信し、全国他都市の能楽堂の取組と比較することで平和市民公園能楽堂の優位性を見出してほしい。	・より多くの方に来館してもらう取り組みを進める中で、能楽堂という稀有な施設が大分市にある事をより一層発信していけるように努める。 ・アンケート内容を見直しつつ、より多くの方からの意見をもらえるよう努める。
・施設全体に関わる内容のアンケートの母数を増やし、その後の施設運営に活かすとともに、土日の稼働率を把握し、稼働率が上がるよう努めてほしい。	・土日はもちろん、利用者が少なくなりがちな平日に自主事業を実施するなどして、施設の稼働率向上に引き続き努めていく。
・能楽の独特な文化を市内の小中学生によりアピールしつつ、小中学生の能楽堂来館の有無について調査し、小中学生の能に関する意識がどの程度あるか把握することが望ましい。	・小中学生に対しては、年に1回能楽出張教室を行っており、能楽文化のアピールに努めている。R5年度には、小学生向けの施設見学を試行し好評だったため、今後市内の小学校に向け広報を行い、若年層の利用者増加につなげていきたい。その際に、アンケート等を通じて小中学生の意識把握も行っていきたい。

【R6年度 指定管理者評価部会の意見】

①九州に二つしかない施設であり、広く活用すべく、広域市町へのアピールを積極的に実施されたい。
②自主事業の実施により、全体としての利益率は向上しているものの、能楽堂の目的である「能楽」の利用率向上について協議検討されたい。

令和6年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	文化振興課
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
施設種別	レクリエーション・スポーツ施設

1. 指定概要

施設概要	名称	大分市宇曾山荘						
	所在地	大分市大字入蔵635番地の1						
	設置目的	豊かな自然環境を生かし、人や文化の交流の場を提供することにより、市民の心身の活力の向上に寄与するため						
	施設の建築年 (又は事業開始年)	平成2年度						
指定管理者	名称	特定非営利活動法人七瀬の里Nクラブ						
	代表者名	理事長 森 慎一郎						
	所在地	大分市大字野津原397番地						
指定管理業務の内容		①大分市宇曾山荘の使用許可に関する業務 ②大分市宇曾山荘の使用に係る利用料金の徴収に関する業務 ③大分市宇曾山荘の施設及び設備の維持管理に関する業務 ④大分市宇曾山荘の利用促進及び市民の心身の活力の向上を図る業務 ⑤その他大分市宇曾山荘の管理に関して市長等が必要と認める業務						
料金体系		【研修室】1時間 440円（2分の1利用は220円） 【ホール】1時間 1,100円（2分の1利用は550円） 【のきく・和室・洋室】1時間220円 【宿泊】1人一泊：一般 3,160円 高校生 2,440円 小中学生 1,730円 【テニスコート】1面1時間 440円（平日日中 220円） 照明施設：1面1時間 610円						
利用料金制		導入済			選定方法		公募	
指定期間		令和4年 4月 1日～令和 9年 3月31日 （5年間）			導入年度		平成19年度	
利用者数（単位：人）				R5年度 目標④	27,500		達成率 ①／④	108%
18年度② （直営時又は 制度導入1年目）	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度③	R5年度①		18年度比 ①－②	R4年度比 ①－③
14,444	26,598	24,127	25,857	30,693	29,669		15,225	▲ 1,024
管理運営経費の削減額（直営比較時）（単位：千円）								
直営時 管理運営経費（b）	前指定期間 最終年度令和3年(c)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(a)	直営時(初年度)比較 (a)－(b)		前指定期間比較 (a)－(c)
10,258	7,480	7,278	7,480	7,323	7,380	▲ 2878		▲ 100
利用者満足度（%）		満足	やや満足	配置職員数（人）		直営時又は導入1年目		令和5年度
		68	10			8		28

2. 評価結果

評価項目及び評価のポイント								
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組								
	（1）施設の設置目的の達成							
	①施設の特徴を生かし、施設の効用を高めるための取組がなされているか。							
	②施設の設置目的に応じた効果的な広報など情報発信がなされているか。							
	③施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組がなされ、その効果があったか。							
	【実績】 目標指数①テニスコート利用者数【市設定指標：21,500人、指定管理者目標：(R5)22,000人 (R4)21,550人】 実績 (R5)24,699人 (R4)25,767人 目標指数②山荘部分利用者数【R8年度市設定指標：6,000人、指定管理者目標：(R5)6,500人 (R4)5,500人】 実績 (R5)5,775人 (R4)5,299人 目標指数について、山荘部分に関しては市及び指定管理者設定の目標値に達しなかったが、前年度よりも476人増となった。これは、テレビや広報等の広報活動に力を入れた事が要因と考えられる。また、テニスコートの利用者数はテニスコート改修の影響もあり、昨年度より1,068人減となった。今後とも、利用者からの意見や要望等の把握に努め、利用者の拡大につなげていきたい。							
	（2）利用者の満足度							
	①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。							
	②サービスの質や量は向上しているか。							
	③利用者の苦情や要望、意見を把握し、その対応を行っているか。							
	④利用者への情報提供が十分になされたか。							
	【実績】 予約のしやすさ、開館日・時間、使いやすさ、料金、食事、職員の対応の6項目の満足度を調査した結果、全体に占める満足度がR4年度は89%（満足73.7%、やや満足15.5%）R5年度は78%（満足68.2%、やや満足10.3%）となり、R4年度と比べて数値は減少したが、サンプル数については、R4年度の119件からR5年度は162件と増加し、利用者の要望等をより把握するよう努めたといえる。利用者からの意見や要望についても適切に整理し、改善できる部分は早急に対応を行っている。							
	2 効率性の向上等に関する取組							
	（1）経費の低減等							
	①施設の管理運営において経費の縮減が図られているか。							
	②清掃、警備、設備の保守点検等の業務について再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。							
	③経費の効果的・効率的な執行がなされたか。							
	【実績】 支出の推移は、R1：35,655千円、R2：20,406千円、R3：24,741千円、R4：25,935千円、R5：33,979千円となっている。R4と比較すると増大しているがこれは、山荘部分の利用者が増加したことによる人件費及び委託料の増が主な要因であると考えられる。 収支の推移は、R1：△264千円、R2：△67千円、R3：315千円、R4：100千円、R5：△305千円となっている。収支は赤字となっているが、山荘利用者が増加する中でも光熱水費等は昨年度より削減できており、経費削減に努めている。							
	（2）収入の増加							
	①収入を増加させるための具体的な取組がなされ、その効果があったか。							
	【実績】 利用料金の推移は、R1：9,129千円、R2：7,638千円、R3：8,718千円、R4：8,589千円、R5：9,745千円となっており、新型コロナウイルス前の水準を超えることができた。 その他収入（食事、自主事業等）の推移は、R1：19,921千円、R2：5,423千円、R3：8,856（6,346）千円、R4：10,124千円、R5：16,548千円となっている。テレビやチラシなどの広告媒体を積極的に用いたことが、山荘部分の利用者数増加につながった。							

3 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組	
	（1）施設の管理運営の実施状況
	①事業計画等に基づく適切な人員配置や勤務体制となっているか。
	②従事者への教育・研修は、適切に行われているか。
	③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。
	【実績】 事業計画等に基づく適切な人員配置や勤務体制をとっている。なお、地元雇用率は90%を超えている。 従業者研修は、接遇研修や人権研修、安全管理の研修等に加え、感染症対策など、時事に応じて実施している。
	（2）法令遵守、平等利用、安全対策、危機管理体制など
	①関係法令（地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等）の遵守等に遺漏はないか。
	②施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されているか。
	③市民の公平かつ平等な利用が確保されているか。
	④施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
	⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
	⑥事故発生時や非常災害時において適切な対応が取れる体制を確保しているか。
	【実績】 法令の遵守に配慮し、第三者委託や事業計画等の変更について市の承認を得て実施している。 個人情報保護のための対策は適切であり、市民の公平かつ平等な利用も確保されている。 収支の内容に不適切な点はない。 安全管理マニュアル、緊急時対応マニュアル等を整備・適宜更新し、運用している。 施設の修繕や事故防止などの安全対策について、所管課との連携を密にしながら適切な対応がとられている。 施設で新型コロナウイルス感染者が確認された場合の対応や連絡体制などのマニュアル作成を行い適切に運用している。

【総合評価】

【所見】	
R5年度については、R4より全体の利用者数は減少したが、広報活動を積極的に実施したことで、山荘部分の利用者は伸びている。	
【今後の対応】	
テニス利用者が増えるよう、アンケート等により要望等を把握していきたい。山荘部分についても、引き続き広報活動を継続していき、リピーターの獲得や、新規利用者を増やしていく。また、施設の経年劣化が進んでおり、市と指定管理者で連携しながら施設機能の低下が予測できる箇所を計画的に修繕改修していく必要がある。	

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
・テニス合宿等で市外・県外からの利用者が多い施設であるため、商工・農業分野と連携し、大分市の産物等を通して集客するなど、より多くの利用者でにぎわう施設にすることを検討してはどうか。	・集客について 指定管理者とともに現状と今後のビジョンを確認しあいながら、集客に努めていきたい。 ・入浴施設について 収支状況を確認しながら、施設の環境の向上につとめていきたい。 ・施設の予約方法について 今後は電話以外の予約方法も検討していきたい。 ・支払い方法について 収支状況をみながら、キャッシュレス決済の導入を検討していきたい。
・入浴施設の手すりの設置、調理室内の環境整備、テニスコート利用者が気軽に食事ができるような動線についての工夫やシャワールームの設置について検討されたい。	・現地確認について 現在月に1回の頻度で現地へ行き、施設の維持管理状況を確認している。 ・指定管理者について 引き続き、収支状況の把握をしっかりと行い、柔軟な人員配置を行えるよう努めていく。
・施設の予約方法が電話予約のみであるため、インターネット予約の導入を検討されたい。 支払い方法について、キャッシュレス決済の導入を検討し、市民サービスの向上や職員負担の軽減を図ることが望ましい。	
・施設所管課は、維持管理に係る各種点検について書面での確認だけでなく、現地で確認を行うよう努めてほしい。	
・指定管理者は、収支状況について予算と実績を対比し、自己評価を十分に行うとともに、予約状況に応じた人員配置を継続してほしい。	

【R6年度 指定管理者評価部会の意見】

①宿泊施設であり、勤務体制、勤務時間の労務管理が重要であるため、所管課も労務管理状況をしっかりと把握されたい。
②南海トラフ地震等の災害を想定し、危機管理体制、連絡体制、宿泊者対応などの怠りない準備を指導されたい。
③アンケート内容に居住地の項目を設け、大分市民並びに広域市町の利用状況を確認されたい。
④各施設のホームページ上でリンクがない状況となっているため、利用者数を増やすために担当課間による連携を行い、しっかり相互発信をされたい。

令和6年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	文化振興課
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
施設種別	文化施設

1. 指定概要

施設概要	名称	ホルトホール大分							
	所在地	大分市金池南1丁目5番1号							
	設置目的	文化、福祉、健康、産業及び教育の拠点機能を複合し、有機的かつ効果的に連携させた集い・学び・憩い・賑わい・交流の場を創出することにより、大分の人と文化と産業を育み、創造し、発信するとともに、市民の豊かで充実した暮らしの実現に寄与すること。							
	施設の建築年 (又は事業開始年)	平成24年度							
指定管理者	名称	ホルトホール大分みらい共同事業体（日本管財㈱九州本部・㈱九電工・㈱コンベンションリンケージ・㈱プランニング大分・学校法人後藤学園）							
	代表者名	日本管財㈱九州本部 本部長 園木 択実							
	所在地	福岡市博多区博多駅東2丁目1番23号							
指定管理業務の内容		①運営管理施設の運営管理に関する業務 ②運営管理施設の使用許可に関する業務 ③運営管理施設の使用に係る利用料金の徴収に関する業務 ④運営管理施設の利用促進及び文化、福祉、健康、産業及び教育の振興を図る業務 ⑤その他、大分市又は指定管理者が必要と認める業務							
料金体系		【大ホール】 無料公演 32,580円～108,850円(平日)・ 39,080円～130,640円(土日)／有料公演 46,510円～279,820円(平日)・ 55,840円～335,870円(土日) 【小ホール】 無料公演 6,710円～22,420円(平日)・ 7,960円～26,820円(土日)／有料公演 9,530円～57,510円(平日)・ 11,420円～69,040円(土日)【会議室】 1時間あたり420円～4,610円 【トレーニングルーム】個人1回につき310円 等							
利用料金制		導入済			選定方法		公募		
指定期間		令和6年4月1日～令和10年3月30日（4年間）				導入年度		平成25年度	
利用者数（単位：人）				R5年度 目標④		880,000		達成率 ①／④ 68%	
25年度② (直営時又は 制度導入1年目)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度③	R5年度①		25年度比 ①－② R4年度比 ①－③		
475,046	718,485	289,648	350,511	484,375	596,917		121,871	112,542	
管理運営経費の削減額（直営比較時）（単位：千円）									
導入1年目 指定管理料(b)	前指定期間 最終年度30年(c)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(a)	直営時(初年度)比較 (a)－(b)		前指定期間比較 (a)－(c)	
178,283	170,039	316,514	308,157	284,262	283,957	105,674		113,918	
利用者満足度（％）		満足	やや満足	配置職員数（人）		直営時又は導入1年目		令和5年度	
		75.2%	21.8%			44		57	

2. 評価結果

評価項目及び評価のポイント	
1	施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組
	(1) 施設の設置目的の達成
	①施設の特徴を生かし、施設の効用を高めるための取組がなされているか。
	②施設の設置目的に応じた効果的な広報など情報発信がなされているか。
	③施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組がなされ、その効果があったか。
	【実績】 (利用者数 令和元年度 718,485人 令和2年度 289,648人 令和3年度 350,511人 令和4年度 484,375人 令和5年度 596,017人) ○全館連携の「ホルトホール大分まつり」を開催し3,726名が来場するなど、複合文化交流拠点として「にぎわい創出」に貢献している。 ○季刊広報誌やチラシ、パンフレット、新聞、テレビ、ケーブルテレビ、タウン情報誌、Facebook、デジタルサイネージ、市報等、多種多様な広報媒体を活用して情報発信に努めている。 また、障がい者福祉センターでは新たにウォーキングブル専用のパンフレットを作成し、市報折込として近隣住民に配布し、利用促進に努めている。 ○年間施設利用者は新型コロナウイルスが5類に移行したことを受け、前年より111,642人増加している。全体稼働率は69.8%と令和4年の66.1%よりも増加しており、状況は改善しつつある。
	(2) 利用者の満足度
	①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
	②サービスの質や量は向上しているか。
	③利用者の苦情や要望、意見を把握し、その対応を行っているか。
④利用者への情報提供が十分になされたか。	
【実績】 ※利用者アンケート等による利用者満足度について、結果、過去の結果との比較、また、その要因・原因を明確に記入してください。 (利用者満足度 令和元年度 85.1% 令和2年度 96.1% 令和3年度 95.9% 令和4年度 95.6% 令和5年度 97%) ○実施した利用者アンケートでは、97%の利用者満足度を達成している。説明事項の徹底など窓口対応の見直しを行ったことにより、満足度が向上したと考えられる。 ○一部講座の申し込みをメールでも受け付けるように変更し、利便性の向上に努めた。また、接遇面では窓口職員の更なるレベル向上を目指し、マナー研修実施などの取り組みを行っている。	
2	効率性の向上等に関する取組
	(1) 経費の低減等
	①施設の管理運営において経費の縮減が図られているか。
	②清掃、警備、設備の保守点検等の業務について再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
	③経費の効果的・効率的な執行がなされたか。
	【実績】 (指定管理料 令和元年度：272,381千円 令和2年度：316,514千円 令和3年度：308,157千円 令和4年度：284,262千円 令和5年度：283,957千円) ○設備の保守点検の再委託を行う場合は、適宜報告を受け、業務内容や経費について確認を行っている。 ○備品の適正管理や消耗品等の経費削減を行っている。
	(2) 収入の増加
	①収入を増加させるための具体的な取組がなされ、その効果があったか。
	【実績】 (利用料収入 令和元年度：108,219千円 令和2年度：61,106千円 令和3年度：74,457千円 令和4年度：104,052千円 令和5年度：122,813千円) ○近隣ホールの工事の影響もあり大ホール小ホールの稼働率が上昇し、利用料収入は前年比増となった。 ○10周年記念事業として3つの大型催事を実施するなど、自主事業においても可能な限り収入の増加に努めた。

3 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組	
	(1) 施設の管理運営の実施状況
	①事業計画等に基づく適切な人員配置や勤務体制となっているか。
	②従事者への教育・研修は、適切に行われているか。
	③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。
	【実績】 ○正社員とパートを事業計画書に基づき配置し、必要な資格者も適正に配置している。また、過去の実績に基づき従業員のシフトを組んで、従業員の休暇取得にも配慮している。 ○接遇・人権・資格（労働安全衛生等）取得の研修を実施し、正社員及びパートのスキルアップを図っている。 ○季節のイベントなどの自主事業や、療育手帳等所持者への文化教室開催、創業支援等を行い、地域活性化に寄与している。また、館内の団体と共同事業を実施するなど連携し、施設のより効果的な活用を図っている。
	(2) 法令遵守、平等利用、安全対策、危機管理体制など
	①関係法令（地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等）の遵守等に遺漏はないか。
	②施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されているか。
	③市民の公平かつ平等な利用が確保されているか。
	④施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
	⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
	⑥事故発生時や非常災害時において適切な対応が取れる体制を確保しているか。
【実績】 ○法令の遵守に配慮しており、業務の再委託や事業計画の変更等についても市の承認を得てから実施している。 ○受付マニュアル等を各施設ごとに整備し、施設予約で不公平が生じないよう受付窓口等で配慮している。また、講座では抽選漏れの方が参加できる教室等を開催しており、平等な利用の確保に努めている。 ○事業別に予算を設定し、毎月のモニタリングで収支を確認しており、適正な財務体制を維持している。 ○安全管理マニュアルを作成し、定期的に避難訓練を実施するとともに、安全管理に必要な資格取得を促進している。また、備品の保守点検・補修等で安全確保に努めている。	

【総合評価】

【所見】
目標人数には達しなかったものの、利用者は増加傾向にあり、稼働率も改善している。アンケート結果についても高い満足度を維持しているが、今後も利用人数の増加と満足度の維持に努める必要がある。
【今後の対応】
令和6年度からは新たな指定管理期間となることから、より効率的な運営と市民が親しみやすく、利用しやすい施設を目指す。

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
・ 予約システム改修時には、クレジットカード導入を検討されたい。 ・ 館内施設ごとの平米あたり稼働率把握などを通じ、効率的運営に努めてほしい。	・ 令和7年2月に稼働予定の次期システムでは、オンラインでのクレジットカード決済を導入予定である。 ・ 施設ごとの稼働率を把握し、稼働率の低い施設については料金の改定など、効率的な運用となるよう、改善を図る。

【R6年度 指定管理者評価部会の意見】

①稼働率の向上を図るために、非利用者に対する施設ニーズアンケート調査を実施されたい。 ②トレーニングルームについては、利用者数を増やすだけでなく、幅広い年齢の方たちが使いやすいよう運営のありかたについて協議検討されたい。

令和6年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	文化振興課
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
施設種別	文教施設

1. 指定概要

施設概要	名称	コンパルホール							
	所在地	大分市府内町1丁目5番38号							
	設置目的	市民文化の創造に寄与するとともに、市民生活の向上を図るため							
	施設の建築年 (又は事業開始年)	昭和60年度							
指定管理者	名称	コンパルホール共同事業体							
	代表者名	代表構成員コンベンション・リンケージ 代表取締役 平位 博昭							
	所在地	東京都千代田区三番町2番地							
指定管理業務の内容		①コンパルホールの使用許可に関する業務 ②コンパルホールの使用に係る利用料金の徴収に関する業務 ③コンパルホール（大分市民図書館コンパルホール分館・大分中央公民館・大分市男女共同参画センターを含む。）の施設及び設備の維持に関する業務 ④コンパルホールの利用促進及び文化とスポーツの振興を図る業務 ⑤教室・講座、イベント等の自主事業の実施に関する業務 ⑥その他コンパルホールの運営管理に関して市長等が必要と認める業務							
料金体系		【文化ホール】15,730円～70,780円 【多目的ホール】14,520円～65,340円 【会議室】360円～1,210円 【体育室】1,210円（全部使用・1時間あたり） 等							
利用料金制		導入済			選定方法		公募		
指定期間		令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）				導入年度		平成23年度	
利用者数（単位：人）				R5年度 目標④		619,500		達成率 ①／④ 76%	
22年度② (直営時又は 制度導入1年目)		R1年度		R2年度		R3年度		R4年度③	
		R5年度①		22年度比 ①－②		R4年度比 ①－③			
541,857		568,389		262,389		292,335		354,007	
		469,360		▲ 72,497		115,353			
管理運営経費の削減額（直営比較時）（単位：千円）									
直営時 管理運営経費（b）		前指定期間 最終年度28年(c)		R2年度		R3年度		R4年度	
		R5年度(a)		直営時(初年度)比較 (a)－(b)		前指定期間比較 (a)－(c)			
159,200		137,808		182,692		184,353		153,781	
		142,038		▲ 17162		4230			
利用者満足度（%）				満足		やや満足		配置職員数（人）	
				97		-		28	
						直営時又は導入1年目		令和5年度	
						20（事務局）			

2. 評価結果

評価項目及び評価のポイント	
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組	
	(1) 施設の設置目的の達成
	①施設の特色を生かし、施設の効用を高めるための取組がなされているか。
	②施設の設置目的に応じた効果的な広報など情報発信がなされているか。
	③施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組がなされ、その効果があったか。
	【評価の理由】 令和5年度利用者数（目標）615,000人（令和元年度：601,000人、令和2年度：620,000人、令和3年度：619,500人、令和4年度：619,500人） 令和5年度利用者数（実績）469,360人（令和元年度：568,389人、令和2年度：262,423人、令和3年度：292,335人、令和4年度：354,007人） ○目標数値の達成は出来なかったが、利用者数は令和4年度より115,353人増加しており、回復傾向で推移している。 ○Facebook、Instagramにて情報発信を行っている。 ○利便性を高めるため、老朽化している備品更新に努めている。
	(2) 利用者の満足度
	①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
	②サービスの質や量は向上しているか。
	③利用者の苦情や要望、意見を把握し、その対応を行っているか。
	④利用者への情報提供が十分になされたか。
【評価の理由】 令和5年度アンケート結果 ○利用者アンケート（10月・3月の2回実施、サンプル数合計408）「受付対応について」とても良い/良いの割合は97.0%で、目標の81%を達成（令和元年度：86.0%、令和2年度：81.1% 令和3年度：86.5% 令和4年度：96.7%） ○自主事業満足度アンケート（サンプル数3,765）満足度平均95.1%（令和元年度：96.0%、令和2年度：96.0% 令和3年度：94.0% 令和4年度：95.4%） ○「退出時チェックシート」にて苦情・意見・要望の把握に努め、受付窓口等で承ったものと併せて全て翌月次報告にて対応を報告している。 以上より受付対応から自主事業に及ぶまで高い水準で満足を得られており、利用者の意見に真摯に対応していると評価できる。	
2 効率性の向上等に関する取組	
	(1) 経費の低減等
	①施設の管理運営において経費の縮減が図られているか。
	②清掃、警備、設備の保守点検等の業務について再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
	③経費の効果的・効率的な執行がなされたか。
	【評価の理由】 ○令和5年度の消耗品・印刷製本費・光熱水費は48,607,012円であり、昨年度より減少している。 （令和元年度：47,262,114円、令和2年度：39,919,321円 令和3年度：46,379,283円、令和4年度：59,240,039円） ○施設の老朽化に伴う備品、消耗品等の交換を迅速に行い市民ニーズに対応出来ていた。また可能な限り安価な物を購入するなどとして経費削減に努めていた。
	(2) 収入の増加
	①収入を増加させるための具体的な取組がなされ、その効果があったか。
	【評価の理由】 ○令和5年度の実績は 283,048,194円であった。令和4年度より利用料金収入、事業収入ともに増加している。これは継続的に自主事業等の実施に努めた結果であるとして評価できる。 （令和元年度：298,841,786円、令和2年度：282,505,512円、令和3年度：300,232,780円、令和4年度：279,830,526円） ○通年、利用者のニーズに応じた様々な内容の教室・講座を開催していることも、収入増加の取り組みとして評価できる。

3 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組								
	(1) 施設の管理運営の実施状況	①事業計画等に基づく適切な人員配置や勤務体制となっているか。						
		②従事者への教育・研修は、適切に行われているか。						
		③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。						
		【評価の理由】 ○正社員とパートを事業計画書に基づき配置し、必要な資格者も適正に配置している。また、過去の実績に基づき従業員のシフトを組んで、従業員の休暇取得にも配慮している。 ○基本研修（マナー、接遇、苦情対応や介助人権等）や専門研修（自主事業企画運営）、外部講習（修了証取得含む）を実施し、スタッフのスキルアップを図っている。 ○毎月第1水曜日に四館実務者定例会議を実施し、連絡事項や共通課題、相互連携等について協議している。 障害者就労支援団体と連携した「ふない天神町こえん市」や「コンパルホール合唱団育成事業」など市民参加型の自主事業や働く場の創造支援を行い、地域活性化に寄与している。						
	(2) 法令遵守、平等利用、安全対策、危機管理体制など	①関係法令（地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等）の遵守等に遺漏はないか。						
		②施設の利用者の個人情報保護するための対策が適切に実施されているか。						
		③市民の公平かつ平等な利用が確保されているか。						
		④施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。						
		⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。						
		⑥事故発生時や非常災害時において適切な対応が取れる体制を確保しているか。						
		【評価の理由】 ○法令の遵守に配慮し、第三者委託や事業計画等の変更について市の承認を得てから実施している。 ○受付マニュアル、安全管理マニュアル、緊急時対応マニュアル等を整備・適宜更新し、市民の平等な利用の確保や事故発生、非常災害時等における対応フローを確立している。 ○定期的に消防・防災訓練ならびに安全研修を実施しており、対応フローの共有や消防設備配置・避難経路の確認を直営施設（図書館・公民館・男女センター）を含むコンパルホール全体で行っている。 ○不具合や故障発生に起因する修繕案件は事前に事象発生の報告書提出があり、対応決定後月次報告書内で報告、適切に実施している。また、日常点検結果や利用者のご意見を踏まえて早急に対応している。						

【総合評価】

【今後の対応】
分野別の利用者アンケートや館長ポスト等様々な形で利用者の苦情・要望・意見の把握に努めており、評価指標のあるアンケートで高評価を受けていることから、その姿勢が広く利用者に評価されていることがうかがえる。 また、検討や対応完了の段階で漏れなく所管課へ相談や報告があり、密な連携がとれていることも適切な対応・利用者サービスの維持向上に努めていると評価できる。 近年は施設の老朽化に伴うトラブル発生や改修工事に伴う現場の調整・管理、利用者への対応等が発生しており、企画業務が圧迫されている。スタッフの適正な労働環境を維持するとともに、新規事業への人員確保等に工夫・検討に努める必要がある。
【今後の対応】
施設の老朽化に伴う設備補修など、近年は事後保全の対応件数が増加している。施設の維持管理に必要な不可欠な設備については計画的に更新を行うなど予防保全への取り組みを強化する必要がある。

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
・経営改善の為、指定管理者による提携先の開拓を積極的に行ってほしい。 ・ホールとしての機能だけでなく、現在の市民ニーズを把握して利用目的への見直しを必要に応じて検討してほしい。	・大分県フェンシング協会、大分県サッカー協会、大分県障がい者スポーツ協会、大分市障害者就労支援協議会所属団体などの団体と連携して事業を実施した。今後も新たな提携先を積極的に開拓していく。 ・令和6年1月8日に今後の施設の利活用について意見を聞くワークショップを開催した。寄せられたご意見を今後の施設運営に反映させていきたい。

【R6年度 指定管理者評価部会の意見】

①充足率100%に達していない講座があるため、指定管理者側と充足率の観点から随時見直しをされたい。 ②講座数が増えている反面利用者数が減っているため、原因の分析を指定管理者に対して確認されたい。 ③アンケートの質問において「利用のしやすさ」が重複しているため、より具体的な質問を設け、施設のより良い運営につながるようされたい。

令和6年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	スポーツ振興課
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
施設種別	レクリエーション・スポーツ施設

1. 指定概要

施設概要	名称	大分市営温水プール						
	所在地	大分市西浜1番14号						
	設置目的	市民の心身の健全な発達に寄与するため。						
	施設の建築年 (又は事業開始年)	平成7年度						
指定管理者	名称	日本水泳振興会・東急コミュニティ 共同事業体（㈱日本水泳振興会・㈱東急コミュニティ）						
	代表者名	㈱日本水泳振興会 代表取締役 坂元 要						
	所在地	東京都中野区東中野3丁目18番12号						
指定管理業務の内容		①管理施設の使用許可に関する業務 ②管理施設の使用に係る利用料金の収受に関する業務 ③管理施設の維持管理に関する業務 ④管理施設の利用促進及びスポーツの振興を図る業務 ⑤その他、市長等が必要と認める業務						
料金体系		【個人利用】 大人：160円（330円） 高校生等：70円（160円） 幼児、小・中学生：40円（70円） ※（ ）内は温水期（10月～6月）料金 【教室】 入会金：3,000円 受講料：1回毎は1,000円、練習回数により2,000円～5,000円						
利用料金制		導入済			選定方法		公募	
指定期間		平成31年4月1日～令和6年3月31日 （5年間）			導入年度		平成19年度	
利用者数 （単位：人）				R5年度 目標④	120,000		達成率 ①／④	88%
平成18年度② (直営時又は 制度導入1年目)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度③	R5年度①		平成18年度比 ①－②	R4年度比 ①－③
109,317	100,582	70,939	88,229	95,570	105,039		▲ 4,278	9,469
管理運営経費の削減額（直営比較時） （単位：千円）								
直営時 管理運営経費（b）	前指定期間 最終年度30年(c）	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(a)	直営時(初年度)比較 (a)－(b)		前指定期間比較 (a)－(c)
60,337	50,688	55,766	50,616	50,616	50,616	▲ 9721		▲ 72
利用者満足度（％）		満足	やや満足	配置職員数（人）		直営時又は導入1年目		令和5年度
		74	17			7		32

2. 評価結果

評価項目及び評価のポイント								
2	1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組							
	（1）施設の設置目的の達成							
	①施設の特徴を生かし、施設の効用を高めるための取組がなされているか。							
	②施設の設置目的に応じた効果的な広報など情報発信がなされているか。							
	③施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組がなされ、その効果があったか。							
	【実績】							
	（利用者数 目標120,000人 令和元年度100,582人 令和2年度70,939人 令和3年度88,229人 令和4年度95,570人 令和5年度105,039人） ○新型コロナウイルスの影響により、施設利用者数は目標に達していないが、毎年利用者数は増加している。また、利用者ニーズに応じた自主事業を展開している。 ○ホームページを利用し、水泳教室やフロア教室の広報が行われている。							
	（2）利用者の満足度							
	①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。							
	②サービスの質や量は向上しているか。							
	③利用者の苦情や要望、意見を把握し、その対応を行っているか。							
	④利用者への情報提供が十分になされたか。							
	【実績】							
	（満足・やや満足の回答率 令和3年度93％ 令和4年度91％ 令和5年度91％） ○回答結果においては91%の方が、満足・やや満足と回答しており、前年度と同水準である。 ○利用者の意見や要望の把握は適切に行われており、対応可能なものについてはすぐに対応をしている。 ○施設の休館情報等、随時情報提供を行っている。							
	2 効率性の向上等に関する取組							
	（1）経費の低減等							
	①施設の管理運営において経費の縮減が図られているか。							
	②清掃、警備、設備の保守点検等の業務について再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。							
	③経費の効果的・効率的な執行がなされたか。							
	【実績】							
	○施設維持管理等について可能な限り職員が対応することとし経費の削減に務めている。							
	（2）収入の増加							
	①収入を増加させるための具体的な取組がなされ、その効果があったか。							
	【実績】							
	（利用料収入 令和元年度9,572,710円 令和2年度6,580,920円 令和3年度7,689,440円 令和4年度8,246,330円 令和5年度8,929,435円） （自主事業収入 令和元年度23,664,330円 令和2年度20,348,334円 令和3年度31,431,637円 令和4年度39,286,999円 令和5年度43,299,554円） ○収入は増加となっており、利用者ニーズに応じた自主事業を実施し、収入の増額に努めている。							

3 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組								
	（1）施設の管理運営の実施状況							
	①事業計画等に基づく適切な人員配置や勤務体制となっているか。							
	②従事者への教育・研修は、適切に行われているか。							
	③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。							
	【実績】							
	○多様な勤務ローテーションにより過不足なく効率的に配置している。 ○人権・同和問題研修等、事業計画通りに実施されている。とくに、水上救助訓練・AED研修等危機管理研修への意識の高さがうかがえる。 ○従業員の地元雇用や、地元業者との再委託により地域の活性化に貢献している。							
	（2）法令遵守、平等利用、安全対策、危機管理体制など							
	①関係法令（地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等）の遵守等に遺漏はないか。							
	②施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されているか。							
	③市民の公平かつ平等な利用が確保されているか。							
	④施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。							
	⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。							
	⑥事故発生時や非常災害時において適切な対応が取れる体制を確保しているか。							
	【実績】							
	○適正に法令を遵守した管理運営を行っており、公平かつ平等な利用が確保されるように努めている。 ○施設の管理運営に係る収支について適切に処理されている。 ○水泳指導研修、心肺蘇生法・AED研修を実施するとともに、経年劣化により重大な事故等が発生しないよう、日常点検を実施している。							

【総合評価】

【所見】
これまでの指定管理者としての経験等を活かし、施設の維持管理等が行われている。また、利用者ニーズに応じた自主事業が展開されている。
【今後の対応】
ホームページなどを活用し、施設利用者数の向上に努めていただきたい。施設の管理について、経年による老朽化が進んでおり、大規模事故が生じないよう、施設所管課と綿密な連携を取りながら日常点検を行うことが必要である。

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
・物販については、市民ニーズを把握し、利用者満足度の向上と収益につなげてほしい。 ・土曜日の無料開放について、受益者負担の観点から利用者負担を検討しても良いのではないか。 ・利用料金が低廉である点について、他自治体の状況や現在の管理運営費を加味して再検討することも必要ではないか。 ・施設所管課は指定管理者から提出される予算書・決算書のチェックを十分に行い、適正に指定管理料が使われているかを評価できるよう、管理・指導してほしい。 ・指定管理者自身にも決算について評価させるべきである。	・指定管理者において、利用者から要望があったものは取り入れるようにしている。 ・全庁的な使用料改定を検討しており、その動向をふまえながら、土曜日の無料開放日の継続についても併せて検討していく。 ・予算額と決算額が比較できるものを事業報告で提出してもらうこととした。

【R6年度 指定管理者評価部会の意見】

①「おむつ台を設置してほしい」という、アンケート回答が複数あるので、対応につき検討されたい。
②施設環境への満足度について、「どちらともいえない」「やや不満」の回答が少なからず存在した。よりよい施設運営を行うため、回答の傾向を指定管理者に対して確認されたい。
③避難訓練の実施状況については、事業報告書に避難訓練の実施状況について記載を求めるべきである。
④物販事業にかかる、収支状況の適正性について担当課は確認されたい。

令和6年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	スポーツ振興課
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
施設種別	レクリエーション・スポーツ施設

1. 指定概要

施設概要	名称	大分市営陸上競技場並びに津留運動公園有料公園施設（自由広場・テニスコート）						
	所在地	大分市西浜1番1号						
	設置目的	市民の体育及びレクリエーション等の用に供するため。						
	施設の建築年 （又は事業開始年）	昭和40年						
指定管理者	名称	大分リバースタジアム共同企業体（㈱グリーンフジタ・大分市陸上競技協会・㈱スポーツジョイ）						
	代表者名	㈱グリーンフジタ 代表取締役 井尾 文継						
	所在地	大分市中島中央2丁目2番25号						
指定管理業務の内容		①施設の使用許可に関する業務 ②施設の使用に係る利用料金の徴収に関する業務 ③施設の維持管理及び修繕に関する業務 ④施設の利用促進及びスポーツの振興を図る業務 ⑤あらゆる世代の市民の健康づくりの拠点に関する業務 ⑥その他、市長等が必要と認める業務						
料金体系		【トラックフィールド】（個人利用・1名1回） 小学生～高校生は60円、大学生・一般は140円 （専用利用・4時間以内） 小学生～高校生は6,600円、大学生・一般は8,580円 【トレーニングルーム】中・高校生は60円、大学生・一般は140円 【野球場】1時間310円 【テニスコート】1時間160円 等						
利用料金制		導入済			選定方法		公募	
指定期間		令和4年4月1日～ 令和9年3月31日（5年間）			導入年度		平成20年度	
利用者数（単位：人）				R5年度 目標④	172,000		達成率 ①／④	106%
19年度② （直営時又は 制度導入1年目）	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度③	R5年度①		19年度比 ①－②	R4年度比 ①－③
158,713	242,684	166,145	194,131	214,199	182,461		23,748	▲ 31,738
管理運営経費の削減額（直営比較時）（単位：千円）								
直営時 管理運営経費（b）	前指定期間 最終年度3年（c）	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(a)	直営時(初年度)比較 （a）－（b）	前指定期間比較 （a）－（c）	
63,170	60,092	60,092	60,092	60,000	60,000	▲ 3170	▲ 92	
利用者満足度（%）		満足	やや満足	配置職員数（人）		直営時又は導入1年目		令和5年度
		58	7			6		12

2. 評価結果

評価項目及び評価のポイント							
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組							
（1）施設の設置目的の達成							
①施設の特徴を生かし、施設の効用を高めるための取組がなされているか。							
②施設の設置目的に応じた効果的な広報など情報発信がなされているか。							
③施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組がなされ、その効果があったか。							
【実績】 令和5年度利用者数：目標 172,000人（令和元年度 254,000人、令和2年度 251,000人、令和3年度 245,000人、令和4年度 248,000人） 令和5年度利用者数：実績 182,461人（令和元年度 242,684人、令和2年度 166,145人、令和3年度 194,131人、令和4年度 214,199人） ○陸上競技場の改修工事に伴い目標人数を例年よりも低く設定したが、達成している。 ○事業計画どおり行われており、ホームページやSNSを利用した広報により、利用者数の増加に寄与している。							
（2）利用者の満足度							
①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。							
②サービスの質や量は向上しているか。							
③利用者の苦情や要望、意見を把握し、その対応を行っているか。							
④利用者への情報提供が十分になされたか。							
【評価の理由】 ○利用者アンケートの利用者満足度の達成度「清掃・安全管理」54%（目標値80%以上）「職員の対応」77%（目標値90%以上）であり、「清掃・安全管理」は、施設の老朽化による満足度の低下が挙げられる。「職員の対応」については、目標値には到達していないが概ね高い評価を得られている。（実施方法：受付窓口にアンケート用紙を設置し、来場者へアンケート回答の協力やHPにアンケートページを掲載し依頼している。） （清掃・安全管理 令和元年度 66.6%、令和2年度 76.8%、令和3年度 66.7%、令和4年度 66% 職員の対応：令和元年度 81.6%、令和2年度 86.9% 令和3年度 82.4%、令和4年度 83%）							
2 効率性の向上等に関する取組							
（1）経費の低減等							
①施設の管理運営において経費の削減が図られているか。							
②清掃、警備、設備の保守点検等の業務について再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。							
③経費の効果的・効率的な執行がなされたか。							
【実績】 ○改修工事に伴い光熱水費が約1356千円減少している。（光熱水費 令和3年度：7,075千円、令和4年度：8,049千円） ○施設の維持管理において可能な限り職員が行い、経費削減に努めている。							
（2）収入の増加							
①収入を増加させるための具体的な取組がなされ、その効果があったか。							
【実績】 ○令和5年度の実績は、75,876,112円であった。 ○自主事業において、利用者ニーズに応じた内容の教室を実施している。							

3 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組							
（1）施設の管理運営の実施状況							
①事業計画等に基づく適切な人員配置や勤務体制となっているか。							
②従事者への教育・研修は、適切に行われているか。							
③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。							
【実績】 ○多様な勤務ローテーションにより過不足なく効率的に配置されている。 ○人権・同和問題研修や、個人情報保護研修を実施するとともに、心肺蘇生講習会や接遇研修も実施している。 ○従業員の地元雇用や再委託先の地元業者との再委託により地域の活性化に貢献している。							
（2）法令遵守、平等利用、安全対策、危機管理体制など							
①関係法令（地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等）の遵守等に遺漏はないか。							
②施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されているか。							
③市民の公平かつ平等な利用が確保されているか。							
④施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。							
⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。							
⑥事故発生時や非常災害時において適切な対応が取れる体制を確保しているか。							
【実績】 ○法令に基づき適正に運営されている。 ○条例等に基づき、公平かつ平等な利用が確保されるように努めている。 ○従業員による安全指導など、安全管理に対して適切に対応されている。 ○計画よりも多く支出している項目があるが、他の費用の削減に取り組んだことにより、適正な状況である。							

【総合評価】

【所見】
これまでの指定管理の実績を生かして、教室の開催時間や内容を利用者ニーズに沿った内容に変更するなどの取り組みを行い、利用者数確保に向けた取り組みを行っている。施設内の清掃や職員の対応にも高い評価を得られており、適正な施設運営がなされていると評価できる。
【今後の対応】
施設管理について、老朽化による修繕や施設の各備品の修理などが多くなっていることから、重大な事故・故障等の発生防止に向け、施設所管課と連絡を取りながら、入念な点検・計画的な営繕に努める必要がある。

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
・指定管理者による業務委託の際の見積合わせを適切に行い、引き続き経費の削減に努めていただきたい。 ・職員の人件費の管理を十分に行うことが望ましい。 ・テニスコート等の利用料金が低廉である点について、他自治体の状況や現在の管理運営費を加味して再検討する必要があると考える。 ・リピーターの獲得に向けて、自分がどれくらいトレーニングをしたかを見える化（ポイントカード等）するなど、個人に合わせた取組を行うことが望ましい。 ・支払い方法について、クレジットカード決済や、キャッシュレス決済導入を行い、市民サービスの向上や職員負担の軽減を図ることが望ましい。 ・自主事業のプログラムについて、毎年ニーズに応じて入れ替えを行うことが望ましい。 ・若年層のニーズが把握できていないので、アンケートの期間中、スタッフが声をかけて書いてもらうようにするなどの工夫を検討されたい。 ・施設の管理運営における課題が明確になるよう、アンケートの各項目の設問を見直す必要がある。	・共同企業体内への委託を実施する場合には、見積合わせを行い、チェック体制を強化いたしました。 ・毎月の報告にて人件費の確認・聞き取りを強化しました。 ・全庁的な使用料改定を検討しており、その動向をふまえながら検討しています。 ・リピーター獲得に向け、回数券の利用を推奨しています。 ・予約システムを通じたキャッシュレス決済等の導入を検討しています。 ・アンケート調査等から利用者ニーズを把握し、プログラムの入れ替えをしています。 ・若年層利用者に対して、スタッフによる声かけやインターネット回答の呼びかけを強化しています。 ・見直しを検討しています。

【R6年度 指定管理者評価部会の意見】

①モニタリング総合評価の評価が今後、今よりも向上させるための協議を指定管理者とされたい。

②利用者数の増加を図るため、施設利用料のキャッシュレス決済の導入の検討や自主事業の若年層のニーズの把握によるプログラムの入れ替えなどを検討されたい。

令和6年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	住宅課
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
施設種別	基盤施設

1. 指定概要

施設概要	名称	市営住宅（一部）						
	所在地	大分市大津町二丁目6番地 他						
	設置目的	国及び地方公共団体が協力して、健康で文化的な生活を営むに足る住宅を設備し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、又は転賃することにより、国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。						
	施設の建築年 （又は事業開始年）							
指定管理者	名称	大分県住宅供給公社（2,773戸）						
	代表者名	大分県住宅供給公社 理事長 渡辺 文雄						
	所在地	大分市城崎町2丁目3番32号						
指定管理業務の内容		①入居者の公募並びに入居及び退去に関する業務 ②入居者の指導及び管理に関する業務 ③家賃及び駐車場使用料の収納に関する業務 ④市営住宅及び共同施設の維持管理並びに修繕に関する業務 ⑤その他、市長が特に必要と認める業務						
料金体系		（家賃）公営住宅法施行令第2条に規定する方法により算出した額 （駐車場使用料）大分市営住宅等駐車場の管理に関する要領に規定する方法により算出した額						
利用料金制		未導入			選定方法		任意指定	
指定期間		令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日（ 5 年間）				導入年度		平成 23 年度
家賃収納率（現年）（単位：％）					R5年度 目標④	98.50		達成率 ①／④ 101％
22年度② （直営時）	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度③	R5年度①		22年度比 ①－②	R4年度比 ①－③
97.98	99.97	99.99	99.96	99.95	99.88		1.90	▲ 0.07
管理運営経費の削減額（直営比較時）（単位：千円）								
直営時 管理運営経費（ b ）	前指定期間 最終年度R3年（ c ）	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度（ a ）	直営時（初年度）比較 （ a ）－（ b ）		前指定期間比較 （ a ）－（ c ）
84,247	39,722	39,722	39,722	43,000	43,000	▲ 41247		3278
利用者満足度（％）		満足	やや満足	配置職員数（人）		直営時又は導入1年目		令和5年度
		44.96	12.82			23		19

2. 評価結果

評価項目及び評価のポイント							
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組							
（1）施設の設置目的の達成							
①施設の特徴を生かし、施設の効用を高めるための取組がなされているか。							
②施設の設置目的に応じた効果的な広報など情報発信がなされているか。							
③施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組がなされ、その効果があったか。							
【実績】 ○定期巡回等により、事故やトラブルの未然防止等に努めている。さらに、利用者からの施設の修繕に関する相談への対応も高く評価できる。 参考：アンケート調査において、修繕に関する相談をした際の対応について満足度89.08％、修繕の対応の迅速さについて満足度94.40％以上が「普通以上」と回答している。 ○ホームページで市営住宅の情報の発信を行うことにより、幅広く広報がなされている。また、ホームページは可能な限り最新の状態で更新できるように心がけており、情報を漏れなく市民に伝えることができている。 ○掲示物や設置物等の要望には、可能な限り対応しており、入居者の施設内での生活の利便性向上を目指して数多くの取組を実行している。							
（2）利用者の満足度							
①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。							
②サービスの質や量は向上しているか。							
③利用者の苦情や要望、意見を把握し、その対応を行っているか。							
④利用者への情報提供が十分にされたか。							
【実績】 ○利用者アンケートの結果、利用者の満足度「普通以上92％以上」という目標を達成し（92.71％）、利用者の満足度が高いことが認められる。 なお、アンケートは郵送配布し、回収は郵送又は持参としている。サンプル数は911件のうち、有効回答817件である。 ○前年度の利用者アンケートにおいて、利用者の満足度は93.59％が普通以上の回答であったのに対して、今年度は92.71％となっている。前年度より0.88％満足度が低いという結果となった。 ○満足度低下の要因としては、アンケート内の要望では、高齢化による訪問介護及びヘルパー等のための設備の充実（駐車場など）、修繕対応時の説明不足の改善を求める意見が多かった。これらの要望に対して、指定管理者が対応可能な範囲内において適切に対応するように努める必要がある。 ○団地内で行われるものについては、事前に管理人を通じて文書の回覧等を行い、入居者全体に連絡をするようにしており、事務連絡の遺漏がないように効率的な手段を確立している。							
2 効率性の向上等に関する取組							
（1）経費の低減等							
①施設の管理運営において経費の削減が図られているか。							
②清掃、警備、設備の保守点検等の業務について再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。							
③経費の効果的・効率的な執行がなされたか。							
【実績】 ○制度導入1年目（H23）と比較すると、人件費・事務費等管理運営費において削減がなされている。 ○保守点検業務や修繕工事など、入札や見積の実施により、管理運営費の削減に努めている。							
（2）収入の増加							
①収入を増加させるための具体的な取組がなされ、その効果があったか。							
【実績】 ○住宅使用料の滞納者に対し、文書、電話、住宅訪問による催告及び呼び出しによる納付指導がなされ、納付指導に応じない場合は、連帯保証人への納付指導依頼等を行っている。また、対象者選定補助業務など、法的措置に関しても本市と密に連携して早期回収を図り、適切に取り組んでいる。その結果、現年徴収率は、99.88％となり、目標の98.50％を上回る高水準となっている。現年度過年度合わせた徴収率は97.76％となり、前5年間と比較しても最高である。							

3 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組	
	（1）施設の管理運営の実施状況
	①事業計画等に基づく適切な人員配置や勤務体制となっているか。
	②従事者への教育・研修は、適切に行われているか。
	③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。
	【実績】 ○職員の配置や勤務体制は良好であり、問題は認められない。 ○市営住宅管理業務研修等の独自で行っている研修に加えて、大分市で行っている人権・同和問題研修や、リスクマネジメント研修、コンプライアンス研修等にも参加している。 ○自治会や周辺住民からの要望にも対応しており、地域協働に積極的である。さらに、必要な場合には関係団体との連携を行い、迅速な問題解決に努めている。
	（2）法令遵守、平等利用、安全対策、危機管理体制など
	①関係法令（地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等）の遵守等に遺漏はないか。
	②施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されているか。
	③市民の公平かつ平等な利用が確保されているか。
	④施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
	⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
	⑥事故発生時や非常災害時において適切な対応が取れる体制を確保しているか。
	【実績】 ○法令等に違反する行為は見受けられておらず、関係法令の遵守に努めている。 ○個人情報保護に関する研修を実施する、個人情報を持ち出す際は使用目的・持ち出し時間等がわかるよう記録するなど適切な対応がとられている。 ○偏った対応は認められておらず、市民に対する平等な対応をしていることが伺える。 ○他の公営住宅や民間賃貸住宅の管理も手掛けており、安定的な経営が行われている。 ○事故等に対し迅速な対応ができるよう安全管理・危機管理マニュアルを策定し、緊急連絡体制を確立している。

【総合評価】

【所見】
現年度過年度合わせた徴収率は97.76％となり、前5年間と比較して最高徴収率となっていることから、指定管理者の着実な努力がうかがえる。また、入居者からのアンケートでも満足度が高く、これまでの経験により蓄積されたノウハウを活かし、入居者からの要望や苦情に対し、迅速かつ的確に対応できる体制となっていることも評価できる。
【今後の対応】
現年収納率の目標指標（98.5％）の確保はもちろんのこと、現年99％以上及び前年度以上の収納率の確保に向け収納強化を図るよう要請するとともに、滞納者へは分割納付など個々の生活状況に応じた納付相談に対応することで、滞納額の増加を防ぎ、未収金の減少が図られるよう監督・指導を行っていく。また、今後も苦情や要望に対し、迅速かつ的確な対応に努めるよう要請し、さらなるサービスの向上を目指す。さらに、修繕費の効率的な運用を図り、募集住戸を増やすなど入居率向上への取組を強化したい。

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
・ 指定管理者制度導入後、高い徴収率を保っているため、施設所管課はそのノウハウを蓄積することで、指定管理者が変わっても対応できるようにする必要がある。 ・ 通信運搬費等の見直しにより経費削減に結び付いた費用を修繕費に追加させることで、住宅の供給及び入居率向上につなげてほしい。 ・ 高齢者もインターネットから情報を得ているので、デジタルでの情報発信を検討されたい。 ・ 施設所管課は、指定管理2者のコストの違いについて比較・分析を十分に行い、適正なる運営を継続してほしい。	・ 住宅課においては事務の引継ぎ体制を確立する。また、指定管理者においては、基本協定書第44条に基づき、事務マニュアル等を新たな指定管理者へ引き継ぐことで現在のノウハウを継承することが可能な状態を確保するように指定管理者へ要請している。 ・ 入居率の向上は重要な課題と認識し、より多くの修繕費の確保に向けて、さらなる経費の見直しに努める。 ・ 大分市HPのみならず、指定管理者のHPでも市営住宅に関する情報発信は行っており、最新の情報を提供できるように、綿密な情報連携に努める。 ・ 2者それぞれのコストについて、詳細な情報をもとに適切な指定管理料となるように精査していきたい。

【R6年度 指定管理者評価部会の意見】

①指定管理2社を比較すると人件費が別大興産より高い結果となっている。各社の適切な支出かどうかを判断するコスト評価の基準を設定されたい。
②2社のコスト比較を行うために、それぞれの事業報告書の統一や決算資料の科目統一ができないか検討されたい。

令和6年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	住宅課
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
施設種別	基盤施設

1. 指定概要

施設概要	名称	市営住宅（一部）					
	所在地	大分市大字往隈910番地1 他					
	設置目的	国及び地方公共団体が協力して、健康で文化的な生活を営むに足る住宅を設備し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、又は転賃することにより、国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。					
	施設の建築年 （又は事業開始年）						
指定管理者	名称	(株)別大興産（2,189戸）					
	代表者名	(株)別大興産 代表取締役 伊勢戸 英世					
	所在地	別府市餅ヶ浜10番8号					
指定管理業務の内容		①入居者の公募並びに入居及び退去に関する業務 ②入居者の指導及び管理に関する業務 ③家賃及び駐車場使用料の収納に関する業務 ④市営住宅及び共同施設の維持管理並びに修繕に関する業務 ⑤その他、市長が特に必要と認める業務					
料金体系		(家賃) 公営住宅法施行令第2条に規定する方法により算出した額 (駐車場使用料) 大分市営住宅等駐車場の管理に関する要領に規定する方法により算出した額					
利用料金制		未導入		選定方法		公募	
指定期間		令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日（ 5 年間）			導入年度		平成 26 年度
家賃収納率（現年）（単位：％）				R5年度 目標④	98.50	達成率 ①／④	101％
25年度② （直営時）	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度③	R5年度①	25年度比 ①－②	R4年度比 ①－③
97.98	99.77	99.81	99.70	99.78	99.91	1.93	0.13
管理運営経費の削減額（直営比較時）（単位：千円）							
直営時 管理運営経費（b）	前指定期間 最終年度R3年(c)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(a)	直営時(初年度)比較 (a)－(b)	前指定期間比較 (a)－(c)
69,760	28,722	29,129	28,722	31,000	31,000	▲ 38760	2278
利用者満足度（％）		満足	やや満足	配置職員数（人）	直営時又は導入1年目		令和5年度
		51.53	12.43		23		7

2. 評価結果

評価項目及び評価のポイント							
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組							
（1）施設の設置目的の達成							
①施設の特徴を生かし、施設の効用を高めるための取組がなされているか。							
②施設の設置目的に応じた効果的な広報など情報発信がなされているか。							
③施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組がなされ、その効果があったか。							
【実績】 ○定期巡回等により、事故やトラブルの未然防止等に努めている。さらに、利用者からの施設の修繕に関する相談への対応も高く評価できる。 参考：アンケート調査において、修繕に関する相談をした際の対応について満足度95.04％、修繕の対応の迅速さについて満足度92.58％の方が「普通以上」と回答している。 ○ホームページで市営住宅の情報の発信を行うことにより、幅広く広報がなされている。また、ホームページは可能な限り最新の状態に更新できるように心がけており、情報を漏れなく市民に伝えることができている。 ○掲示物や設置物等の要望には可能な限り対応しており、入居者の施設内での生活の利便性向上を目指して数多くの取組を実行している。							
（2）利用者の満足度							
①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。							
②サービスの質や量は向上しているか。							
③利用者の苦情や要望、意見を把握し、その対応を行っているか。							
④利用者への情報提供が十分になされたか。							
【実績】 ○利用者アンケートの結果、利用者の満足度「普通以上92％以上」という目標を達成し（93.57％）、利用者の満足度が高いことが認められる。 なお、アンケートは郵送配布し、回収は郵送又は持参としている。サンプル数は728件の内、有効回答667件である。 ○前年度の利用者アンケートにおいて、利用者の満足度は94.22％が普通以上の回答であったのに対して、今年度は93.57％となっている。前年度より0.65％満足度が低いという結果となった。 ○満足度低下の要因としては、アンケート内の要望では、入居率の低下や高齢化に伴う入居者の作業負担量の増加（清掃や除草等）、建物の老朽化による設備の不調などの改善を求める意見が多かった。これらの要望に対して、指定管理者が対応できる範囲内において適切に対応するように努める必要がある。 ○団地内で行われるものについては、事前に管理人を通じて文書の回覧等を行い、入居者全体に連絡をするようにしており、事務連絡の遺漏がないように効率的な手段を確立している。							
2 効率性の向上等に関する取組							
（1）経費の低減等							
①施設の管理運営において経費の縮減が図られているか。							
②清掃、警備、設備の保守点検等の業務について再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。							
③経費の効果的・効率的な執行がなされたか。							
【実績】 ○制度導入1年目（H26）と比較すると、人件費・事務費等管理運営費において縮減がなされている。 ○保守点検業務や修繕工事など、入札や見積の実施により、管理運営費の削減に努めている。							
（2）収入の増加							
①収入を増加させるための具体的な取組がなされ、その効果があったか。							
【実績】 ○住宅使用料の滞納者に対し、文書、電話、住宅訪問による催告及び呼び出しによる納付指導がなされ、納付指導に応じない場合は、連帯保証人への納付指導依頼等を行っている。また、対象者選定補助業務など、法的措置に関しても本市と密に連携して早期回収を図り、適切に取り組んでいる。その結果、現年徴収率は、99.88％となり、目標の98.50％を上回る高水準となっている。現年度過年度合わせた徴収率は98.90％となり、前5年間と比較しても最高である。							

3 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組	
	（1）施設の管理運営の実施状況
	①事業計画等に基づく適切な人員配置や勤務体制となっているか。
	②従事者への教育・研修は、適切に行われているか。
	③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。
	【実績】 ○職員の配置や勤務体制は良好であり、問題は認められない。 ○市営住宅管理業務研修等の独自で行っている研修に加えて、大分市で行っている人権・同和問題研修や、リスクマネジメント研修、コンプライアンス研修等にも参加している。 ○自治会や周辺住民からの要望にも対応しており、地域協働に積極的である。さらに、必要な場合には関係団体との連携を行い、迅速な問題解決に努めている。
	（2）法令遵守、平等利用、安全対策、危機管理体制など
	①関係法令（地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等）の遵守等に遺漏はないか。
	②施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されているか。
	③市民の公平かつ平等な利用が確保されているか。
	④施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
	⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
	⑥事故発生時や非常災害時において適切な対応が取れる体制を確保しているか。
	【実績】 ○法令等に違反する行為は見受けられておらず、関係法令の遵守に努めている。 ○個人情報保護に関する研修を実施する、個人情報を持ち出す際は使用目的・持ち出し時間等がわかるよう記録するなど適切な対応がとられている。さらに、個人情報に関する規格（Pマーク）を保有しており、適切に管理されている。 ○偏った対応は認められておらず、市民に対する平等な対応をしていることが伺える。 ○他の公営住宅や民間賃貸住宅の管理も手掛けており、安定的な経営が行われている。 ○事故等に対し迅速な対応ができるよう安全管理・危機管理マニュアルを策定し、緊急連絡体制を確立している。

【総合評価】

【所見】
現年度過年度合わせた徴収率は98.90％となり、前5年間と比較して最高徴収率となっていることから、指定管理者の着実な努力がうかがえる。また、入居者からのアンケートでも満足度が高く、これまでの経験により蓄積されたノウハウを活かし、入居者からの要望や苦情に対し、迅速かつ的確に対応できる体制となっていることも評価できる。
【今後の対応】
現年収納率の目標指標（98.5％）の確保はもちろんのこと、現年99％以上及び前年度以上の収納率の確保に向け収納強化を図るよう要請するとともに、滞納者へは分割納付など個々の生活状況に応じた納付相談に対応することで、滞納額の増加を防ぎ、未収金の減少が図られるよう監督・指導を行っていく。また、今後も苦情や要望に対し、迅速かつ的確な対応に努めるよう要請し、さらなるサービスの向上を目指す。さらに、修繕費の効率的な運用を図り、募集住戸を増やすなど入居率向上への取組を強化したい。

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
・ 指定管理者制度導入後、高い徴収率を保っているため、施設所管課はそのノウハウを蓄積することで、指定管理者が変わっても対応できるようにする必要がある。	・ 住宅課においては事務の引継ぎ体制を確立する。また、指定管理者においては、基本協定書第44条に基づき、事務マニュアル等を新たな指定管理者へ引き継ぐことで現在のノウハウを継承することが可能な状態を確保するように指定管理者へ要請している。
・ さらなる経費の見直しにより、削減に結び付いた費用を修繕費に転嫁させることで住宅供給戸数の増加及び入居率向上につなげてはどうか。	・ 入居率の向上は重要な課題と認識し、より多くの修繕費の確保に向けて、さらなる経費の見直しに努める。
・ 本庁舎地下1 階の現在の執務スペースでは、労働環境や市民サービス、情報管理を行う上でも課題があるため、見直しを検討されたい。	・ 住宅課として、新たな執務室の確保を担当課に要請している。指定管理者の事務遂行に十分なスペースが空き次第、執務室の移転ができるように引き続き要請を行う。
・ 別大興産は支店が多地域に広がっている。市営住宅の抽選はそのままで良いが、応募については期間を問わず、支店で受け付けられるようにすることで移動手段を持たない方や足腰が悪い方への配慮、市営住宅を必要とする方へ広く公平に案内できると考えられる。	・ 指定管理者の過度な負担にならないことを考慮に入れつつ、市民に対してより広い受付窓口や広告の場を展開することで、さらなる市民サービスの向上に努める。

【R6年度 指定管理者評価部会の意見】

①2社のコスト比較を行うために、それぞれの事業報告書の統一や決算資料の科目統一ができないか検討されたい。

令和6年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所見評価用

所管課	美術振興課
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
施設種別	文教施設

1. 指定概要

施設概要	名称	アートプラザ					
	所在地	大分市荷揚町3番31号					
	設置目的	市民の芸術文化活動の振興を図り、もって市民文化の向上に資すること。					
	施設の建築年 (又は事業開始年)	昭和41年度					
指定管理者	名称	アートプラザ共同事業体（㈱コンベンションリンケージ、㈱メンテナンス）					
	代表者名	代表構成員 株式会社コンベンションリンケージ 代表取締役 平位 博昭					
	所在地	大分市府内町1丁目3番18号 ボラリス府内					
指定管理業務の内容		①管理施設の使用許可に関する業務 ②管理施設の使用に係る利用料金の徴収に関する業務 ③管理物件の維持管理に関する業務 ④その他指定管理に付随する業務 ただし、3階磯崎新建築展示室及び2階60年代ホール展示業務、並びに1階収蔵庫本来の業務管理は市直営とする。					
料金体系		入館料：無料 貸館料：市民ギャラリーA：5,500円/日、市民ギャラリーB：2,350円/日、アートホール：9,950円/日・1,200円/時間、研修室：720円/時間、実技室：220円/時間 1.利用時間に1時間未満の端数があるとき、又はその利用時間が1時間未満のときは1時間とする。 2.冷暖房期間中は、上記により算定した利用料の4割に相当する額（その額に10円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てた額）を加算。					
利用料金制		導入済		選定方法		公募	
指定期間		令和6年4月1日～令和9年3月31日（3年間）		導入年度		平成19年度	
利用者数（単位：人）			R5年度 目標④	180,000		達成率 ①／④	63%
18年度② (直営時)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度③	R5年度①	18年度比 ①－②	R4年度比 ①－③
138,162	161,900	56,609	78,624	105,623	113,410	▲ 24,752	7,787
管理運営経費の削減額（直営比較時）（単位：千円）							
直営時 管理運営経費（b）	前指定期間 最終年度30年度(c)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(a)	直営時(初年度)比較 (a)－(b)	前指定期間比較 (a)－(c)
79,413	73,540	76,026	75,931	75,949	76,100	▲ 3313	2560
利用者満足度（%）		満足	やや満足	配置職員数（人）		直営時又は導入1年目	令和5年度
		81	11			10人（直営時）	23人

2. 評価結果

評価項目及び評価のポイント							
1	施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組						
	（1）施設の設置目的の達成						
	①施設の特徴を生かし、施設の効用を高めるための取組がなされているか。						
	②施設の設置目的に応じた効果的な広報など情報発信がなされているか。						
	③施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組がなされ、その効果があったか。						
	【実績】 利用料金収入：(R1)4,466千円、(R2)3,089千円、(R3)3,621千円、(R4)3,863千円、(R5)4,159千円 自主事業収入：(R1)5,998千円、(R2) 370千円、(R3)1,351千円、(R4)1,706千円、(R5) 826千円 ○令和元年度以前に比べ、利用料金収入および自主企画事業収入が減少しているが、前年度と比較すると、利用料金収入は約29万円増加した。 ○ホームページや機関誌、インターネット、類似施設との連携をはじめ、新聞やラジオなどの広報を積極的に行い、アートプラザの認知度の上昇およびイベントへの参加を促すことに努めている。 ○貸館業務においては、市民の作品展示を積極的に受け入れており、自主企画事業においても、地元の若手アーティストへの支援を行うなど、施設の設置目的に沿った事業を実施できている。						
	（2）利用者の満足度						
	①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。						
	②サービスの質や量は向上しているか。						
	③利用者の苦情や要望、意見を把握し、その対応を行っているか。						
	④利用者への情報提供が十分になされたか。						
2	効率性の向上等に関する取組						
	（1）経費の低減等						
	①施設の管理運営において経費の縮減が図られているか。						
	②清掃、警備、設備の保守点検等の業務について再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。						
	③経費の効果的・効率的な執行がなされたか。						
	【実績】 ○再委託は適切に実施されている。 ○節電の取組みや、使用済み封筒・ポスターの再利用などによる経費削減に努めている。令和5年度も前年度に引き続き電力料金が高騰しており、大きな費用負担が発生すると見込まれたが、政府の実施する「電気・ガス価格激変緩和対策事業」の補助もあり、昨年度に比べ光熱水費に対する支出が約257万円減少した。						
	（2）収入の増加						
	①収入を増加させるための具体的な取組がなされ、その効果があったか。						
	【実績】 利用料金収入：(R1)4,466千円、(R2)3,089千円、(R3)3,621千円、(R4)3,863千円、(R5)4,159千円 自主事業収入：(R1)5,998千円、(R2) 370千円、(R3)1,351千円、(R4)1,706千円、(R5) 826千円 ○アートプラザ開館25周年記念事業「think of Arata Isozaki」の実施や、指定管理者制度導入時から毎年度開催され、アートプラザを代表するイベントの1つである「アートマーケット」及び、アーティスト支援を目的としたミュージアムショップ企画展等を通して、収入の増加に動めている。令和5年度では、3階磯崎展示室への入館者数が4年ぶりに3万人を超えた。						

3 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組	
	（1）施設の管理運営の実施状況
	①事業計画等に基づく適切な人員配置や勤務体制となっているか。
	②従事者への教育・研修は、適切に行われているか。
	③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。
	【実績】 ○適正な人員配置を継続しており、良好である。 ○接遇研修、防災訓練、人権・同和問題研修などを積極的に実施している。また、施設の特徴を理解し、利用しづらい施設をカバーする接遇対応をしている点が評価できる。 ○勤務スタッフの地元雇用を行い、県立美術館などの他文化施設との連携や、建築キッズボランティアガイドの育成を実施している。
	（2）法令遵守、平等利用、安全対策、危機管理体制など
	①関係法令（地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等）の遵守等に遺漏はないか。
	②施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されているか。
	③市民の公平かつ平等な利用が確保されているか。
	④施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
	⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
	⑥事故発生時や非常災害時において適切な対応が取れる体制を確保しているか。
	【実績】 ○関連法令の遵守、個人情報保護対策は適切に行われている。 ○苦情やトラブルは少なく、公正な応対が行われている。また、市民からの意見を受け止め、改善可能な点は対応している。 ○月次モニタリングの際は収支確認において、適切な事務処理が行われている。 ○施設の老朽化が進んでいるが、適宜修繕等の対応を行い、利用者の安全確保に努めている。 ○市制定の指定管理者制度の新指針に基づくものに加え、独自で緊急時対応マニュアルを作成し、防災訓練を年2回実施することにより、緊急時の即応体制が確保されている。

【総合評価】

【所見】
指定管理期間の5年間のうち約3年半は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、利用者数や利用料金収入等が大きく減少し、現在も以前の数値に戻っていない。そのような状況下において、令和5年度はアートプラザ開館25周年記念事業として「think of Arata Isozaki」、「ピックアップアーティスト展」などを開催し、磯崎新氏や建築に関連した展覧会・バスツアーなどを行った。また、「磯崎新追悼式」や「磯崎新追悼シンポジウム」をはじめとした市各課主催行事において連携協力を行った。こうした取り組みにより、市民が磯崎建築を学ぶ機会の提供に寄与し、中心市街地における芸術文化の発信拠点としての機能を果たしていると考える。
【今後の対応】
今後も引き続き、中心市街地における芸術文化の発信拠点として、地域住民や商業施設、市美術館をはじめとした文化施設との連携を深め、市内外に向けた発信の場を広げること、新たな利用者層の獲得を期待したい。 併せて今後、施設の修繕箇所が増加が懸念されることから、指定管理者においては定期的なチェックやメンテナンスを実施し、施設所管課と連携する中で、予防保全に努めることが求められる。

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
・季節により稼働率に変化が見られるため、さらなる活用に向けて季節による利用料金の変動を検討されたい。	・市全体で施設使用料金に関する見直しを行っており、適正な料金を設定できるよう努めている。
・施設全体のLED 化は難しいと思うが、作品をより効果的に見せるための部分的なLED 照明を検討されたい。	・LED照明については、市としても導入を進めているところであり、指定管理者の経費負担の縮小にも繋がることから、今後の改修計画を作成する上での最優先課題としていきたい。
・モニタリング評価がここ数年同じとなっているため、市としての要望事項を記録として残しておくのが望ましい。	・毎月のモニタリングにおいて、市としての要望及び指定管理者の対応について記録を残していく。

【R6年度 指定管理者評価部会の意見】

①例年実施している自主事業について、モニタリングを通じて内容を充実されたい。
②子供たちの活用を推進すべく、夏休みの課題に施設を訪れるような仕組み作りができないか検討されたい。
③市内外から多くの人が訪れる「たのうらら」に磯崎建築を周知する仕組みを検討されたい。